KENWOOD

ミニディスク レコーダー

DM-9090

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。

B60-3490-00 (JA) (J) MC
98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 97/12 11

本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットを採用したオーディオ機器です。ミニディスク(MD)とは、光および光磁気の技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学式非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化することがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

高音質録音再生ができる "High bit Rec.& Play D.R.I.V.E."

本機には当社独自開発の"20 bit REC D.R.I.V.E."を搭載しており、CDは勿論のことチューナーやアナログプレーヤーからのアナログ録音も20 bit高音質録音ができます。

また、再生側にも当社独自開発の"24 bit D/A converter"を搭載し、高音質再生を実現しています。

(D.R.I.V.E.:Dynamic Resolution Intensive Vector Enhancement)

サンプリング・レート・コンバーター搭載

本機にはあらゆるデジタルソース(32kHz, 44.1kHz, 48kHz)に対応したサンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

- 48kHz :DATの標準モード。 BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1kHz :DATの標準モード。 CD,MD等。
- 32kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

多彩な編集機能

通常の編集 (MOVE、DIVIDE、COMBINE、ERASE)に加え、一度に曲順をまとめて移動できるQUICK MOVE機能や、任意の曲を簡単にERASEすることができるQUICK ERASE機能など、多彩な編集機能を搭載しています。

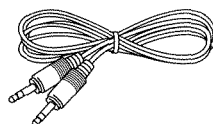
DIGITAL・RECボリューム

従来、アナログ録音のときしかできなかった録音レベル調整をデジタル録音のときにも可能としました。さらに、フェード・イン／アウト機能も可能です。

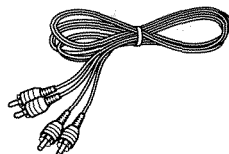
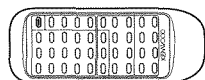
タイトル・インプット タイトル・サーチ搭載

マルチジョグダイアルを使って簡単にタイトルが入れられる"タイトルインプット"と、聴きたい曲のタイトルを確認しながら探せる"タイトルサーチ"に加え、良く使うタイトルをプリセットできる"プリセットタイトル"機能を搭載しています。

サイバー・タイトラー対応

別売のサイバー・タイトラー (CT-G90またはCT-H90) を利用することにより、タイトル入力やタイトル印刷およびタイトル編集などができ、データーを双方向通信でやり取りすることができます。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

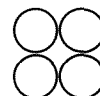
オーディオコード(2本)

システムコントロールコード(1本)

光ファイバーケーブル(1本)

リモートコントロールユニット(1個)

リモコン用単3乾電池(2本)

ピンスパイク(4個)

滑り止めシート(4個)

目次

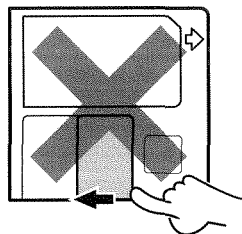
⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

取扱上のご注意

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。
いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

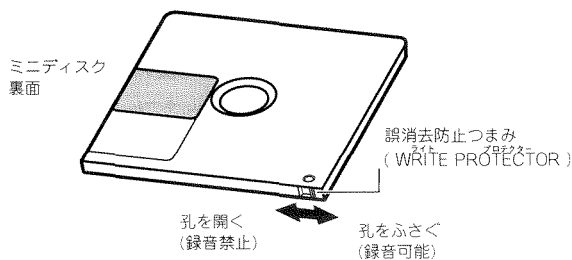
シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。
無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECTOR（ライト プロテクター）)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れないでPOWER（パワー）キーをオンにします。
   - ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. POWER（パワー）キーをオフにします。

NO DISC

設置場所について

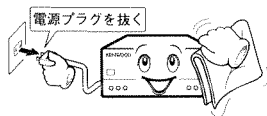
MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。
これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。
- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温度との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態、またはPOWER(パワー)キーがOFF(オフ)の状態でのメモリーの記憶時間は周囲の環境によって変化することがありますが、約3週間です。
長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（ミニディスク取り出し時に記録される）がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

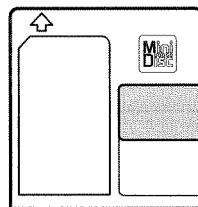
社団法人
私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03) 5353-0336（代）
FAX. (03) 5353-0337

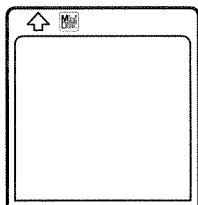
CD TEXT(テキスト)とは

CDの中に収録された音楽以外の文字情報（ディスク名や曲のタイトル、アーティスト名など）が表示できるように規格されたものをCD TEXTといいます。
本機とCDプレーヤー（CD TEXT 対応）をデジタル接続することにより、CDの文字情報をMDにコピーすることができます。
但し、97年現在はMDに文字情報をコピーできないように、CDにコピー禁止コードが入っているものもあります。この場合、文字情報をコピーすることはできません。
文字情報のコピー禁止コードが入っていないCDは、"CDテキスト編集"の操作が可能になります。 →46

MDシステムとは

ミニディスクシステムの特徴をまとめると、次のようになります。

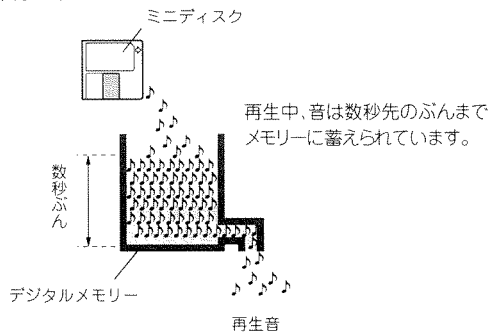
①CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
②カートリッジに入った直径64mmのミニディスクを使用する。
③2種類のミニディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
④高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
⑤半導体メモリーを使った耐震技術。

再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。

録音用ミニディスク

録音が可能なミニディスクで、光磁気ミニディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ミニディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。

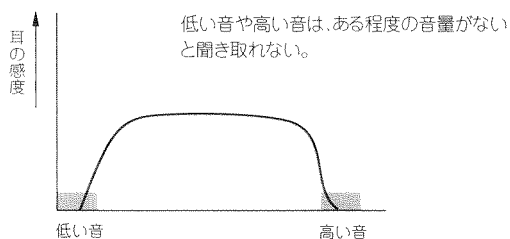
音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時

震動があったとき

高能率符号化技術 "ATRAC" (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された高能率符号化技術によって可能となりました。
ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音

大きな音の近くの小さな音

モノラル録音

本機は、モノラルで長時間の録音（モノラル長時間モード）ができます。録音時間はステレオモード時の約2倍になります。
モノラルで録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生ができません。 → 14

"D.R.I.V.E." (Dynamic Resorution Intensive Vector Enhancement) システム

本機には当社独自開発の"20 bit REC D.R.I.V.E."を搭載しており､CDは勿論のことチューナーやアナログプレーヤーからのアナログ録音も20 bit高音質録音ができます。
また､デジタル入力端子はオプチカル(光)端子とコアキシャル端子を装備しており､どの機類からも高音質録音が可能です。

① 微小信号の再現性が圧倒的に向上したことで､音楽の余韻の再現が際立ちます｡しかも､安定感､臨場感､アタック音や低音の再現まで格段の違いを聴かせてくれます。
② D.R.I.V.E.システムは､入力信号と出力信号の音楽成分の相関性が完全に保たれ､原理的に音質の劣化は生じません。

MONITOR機能

本機では、MONITORキーを使って24bit D/Aコンバーターとして使用できます。"MONITORキーについて"参照。 → 21

接続のしかた

下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

⚠ 注意　接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。 →50

MD/DAT
REC OUT
PLAY IN
プリメインアンプ（別売）
SYSTEM CONTROL
システムコンロールコード
（CDプレーヤー付属）
DIGITAL OUTPUT
OPTICAL COAXIICAL
CDプレーヤー（別売）
SYSTEM CONTROL
オーディオコード
（DM-9090付属）
MDレコーダー（別売）
光ファイバーケーブル
（DM-9090付属）
光ファイバーケーブル（別売）
システムコンロールコード
（DM-9090付属）
AC100V,
50/60Hz
壁面の
コンセントへ
DM-9090
専用通信ケーブル
（CT-G90/CT-H90付属）
別売のサイバータイトラー
（CT-G90またはCT-H90）

デジタル入出力端子(OPTICAL)

デジタル入出力端子を使うときは、保護キャップをはずしてください。

キャップをはずします。

- オーディオコード(両ピンコード)は、白のプラグを 左(**L**)端子に、赤のプラグを 右(**R**)端子に接続してください。
- サイバー・タイトラーを接続される場合は、"サイバー・タイトラーを使うとき"をご覧ください。 →47

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

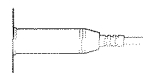
システムコントロールコードの接続について

システムコントロール接続について

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。
ケンウッドのシステムコントロールは、2種類のモードがあります。下記の端子記号の組み合わせ例に従って接続してください。

[XS8] のモード　：[XR]、[XS]、[XS8]の組み合わせ
[SL16] のモード：[SL16]のみの組み合わせ

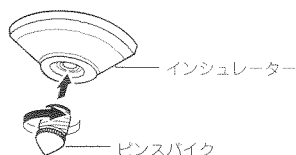
本機は [SL16] に対応しています。
システムコントロール接続する機種が全て [SL16] のモードに設定されている場合、本機とシステムコントロール接続することができます。

1. [SL16]と[XR]、[XS]、[XS8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールコードを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
2. アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
3. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
4. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。

システムコントロール動作について

リモートコントロール
　アンプまたはレシーバーに付属するシステムリモコンで、本機を操作することができます。

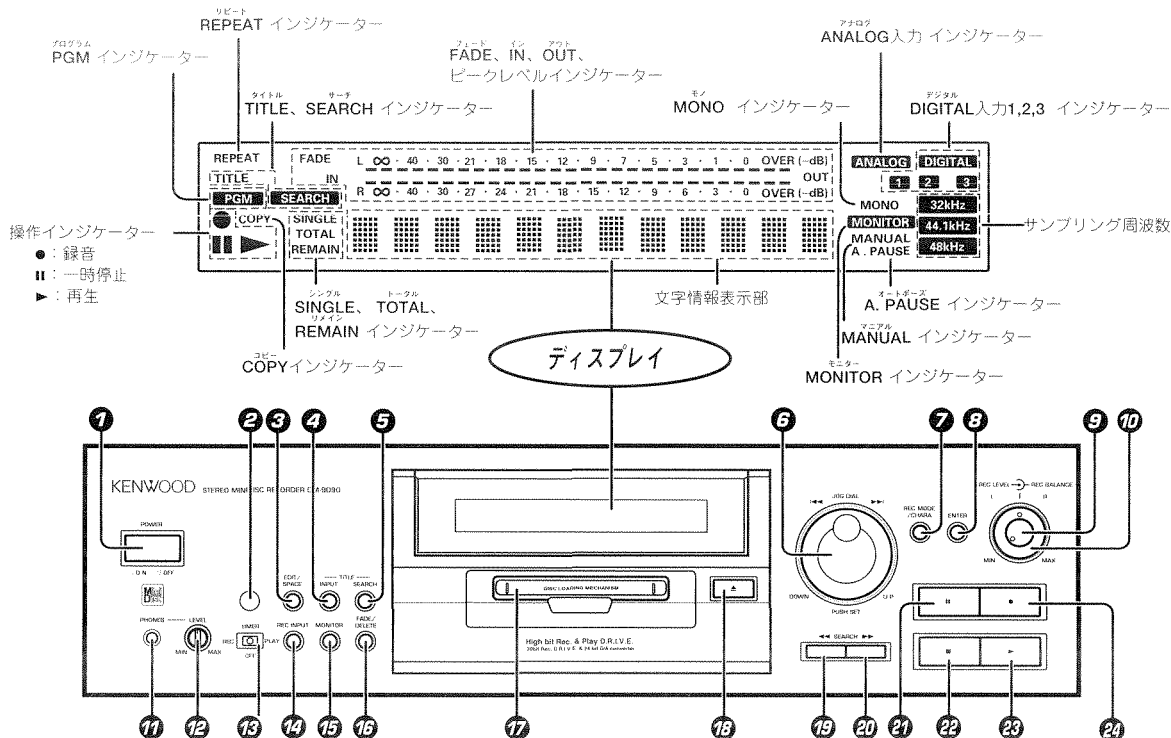
イージーオペレーション
　本機の再生を始めると、アンプまたはレシーバーの入力切換が自動的に切換わります。

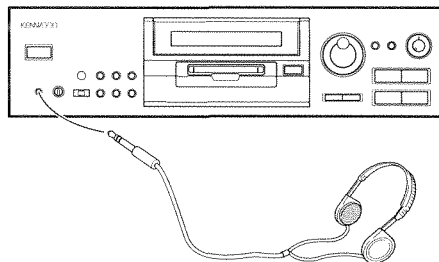
シンクロ録音
　アンプの入力切り換えをCDにして、CDを録音するとき、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音を開始することができます。

●CD以外のデジタルを録音中に、CDを操作しないでください。誤動作する場合があります。 –28

光ファイバーケーブルの接続について

CDプレーヤー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

●光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
●端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
●光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
●市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

ピンスパイクについて

付属のピンスパイクはお好みにより、底面のインシュレーターに図のようにねじ込んで本機が水平になるようにご使用ください。震動の影響を少なくすることによって、音質が変化します。また、ねじ込む量によって、本機の高さを調節することもできます。

⚠注意

1. ピンの先は尖っていますので、他のものを傷つける場合があります。使用時ピンが当たる部分には必ず付属の滑り止めシートを敷いてください。
2. ピンを付けたまま、機器を移動しないでください。落とした場合、危険です。
3. 輸送時、本機を包装するときは、必ずピンを外してください。包装材にピンが当たり、包装材を傷つけたり破損する場合があります。
4. お子様が飲み込む恐れがありますので、使用時以外はお子様の手の届かないところに保管してください

表示部／本体部

REPEAT インジケーター
PGM インジケーター
FADE、IN、OUT、
ピークレベルインジケーター
TITLE、SEARCH インジケーター
ANALOG入力 インジケーター
MONO インジケーター
DIGITAL入力1,2,3 インジケーター
サンプリング周波数
操作インジケーター
●：録音
❚❚：一時停止
►：再生
SINGLE、TOTAL、
REMAIN インジケーター
文字情報表示部
A. PAUSE インジケーター
MANUAL インジケーター
MONITOR インジケーター
COPYインジケーター
ディスプレイ

REPEAT
TITLE
PGM
SEARCH
COPY
SINGLE
TOTAL
REMAIN
FADE
IN
L ∞ · 40 · 30 · 21 · 18 · 15 · 12 · 9 · 7 · 5 · 3 · 1 · 0 OVER (−dB)
OUT
R ∞ · 40 · 30 · 27 · 24 · 21 · 18 · 15 · 12 · 9 · 6 · 3 · 0 OVER (−dB)
ANALOG
DIGITAL
1 2 3
MONO
32kHz
MONITOR
44.1kHz
MANUAL
A . PAUSE
48kHz

KENWOOD STEREO MINIDISC RECORDER DMA-9090
POWER
ON / OFF
EDIT/SPACE
TITLE INPUT
TITLE SEARCH
JOG DIAL
REC MODE/CHARA
ENTER
REC LEVEL
REC BALANCE
MIN MAX
PHONES LEVEL
TIMER
REC OFF PLAY
REC INPUT
MONITOR
FADE/DELETE
DISC LOADING MECHANISM
High bit Rec. & Play D.R.I.V.E.
DOWN UP
PUSH SET
SEARCH

ヘッドホンを使うには

市販のステレオヘッドホン(標準プラグ付)をPHONES端子に差し込み、前面のPHONES LEVELつまみで、お好みの音量に調節してお聴きください。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。
このとき、リモコンで本機をオンできます。

本体部のキー説明

❶ POWERキー
：電源のオン/オフをします。
：また、POWERキーでオンしたときに、スタンバイ状態になることがあります。これは、前回リモコン操作のスタンバイ状態を覚えているためです。

❷ リモコン受光部

❸ EDIT/ SPACEキー →30
EDIT：
：編集モードのオン／オフをします。
SPACE：
：タイトル入力のとき、1文字ぶんの空白を挿入します。

❹ TITLE INPUTキー →42
：タイトル入力モードのオン／オフをします。

❺ TITLE SEARCHキー →15 →43 →44
：タイトルサーチモードのオン／オフをします。
：タイトル編集中、タイトル変更入力時の"上書きモード"、"挿入モード"の切り換えをします。

❻ JOG DIAL（ジョグダイアル） →15 →17 →30
スキップダウン(|◀◀)／スキップアップ(▶▶|)つまみ：
：再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。
：録音のとき、録音設定値調節モードを行います。
：タイトルサーチのとき、トラック番号の選択に使います。
：タイトル入力モードのとき、トラック番号、文字の選択をします。
：編集モードのとき、編集モードやトラック番号の選択をします。
PUSH SETつまみ： →30
：編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。

❼ REC MODE/CHARA.キー →22 →43
REC MODE：
：各種録音設定値調整モード（録音モード）のオン／オフをします。
CHARA.：
：タイトル入力のとき、文字グループの選択をします。

❽ ENTERキー →31
：編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。

❾ REC LEVELつまみ →25
：アナログ録音のレベルを調節します。

❿ REC BALANCEつまみ →25
：アナログ録音のバランスを調節します。

⓫ PHONES端子
：ヘッドホン(別売)を接続します。

⓬ PHONES LEVELつまみ
：ヘッドホンの音量を調節します。

⓭ TIMERスイッチ
：タイマー再生、タイマー録音のときに使います。通常は、タイマーオフにしておきます。

⓮ REC INPUTキー →24
：録音入力のデジタル(オプチカル/コアキシャル),アナログ、モノラルのいずれかに切り換えします。

⓯ MONITORキー →21
：停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

⓰ FADE/DELETEキー →26 →44
FADE：
：フェードモードのオン／オフをします。
DELETE：
：タイトル編集のとき文字の削除や、トラック編集のときトラック番号の取り消しに使います

⓱ ミニディスク挿入口
：スタンバイ状態のとき、ミニディスクを挿入すると自動的に電源がオンします。

⓲ イジェクト(⏏)キー
：ミニディスクを取り出すときに押します。

⓳ マニュアルサーチダウン(◀◀)キー →17 →44
：再生時は、早戻しに使います。
：各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。

⓴ マニュアルサーチアップ(▶▶)キー →17 →44
：再生時は、早送りに使います。
：各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。

㉑ 一時停止(❚❚)キー
：再生、録音の一時停止をします。

㉒ 停止(■)キー
：再生や録音動作を停止させます。

㉓ 再生(▶)キー
：再生キーとして使います。

㉔ 録音(●)キー
：録音をするときに使います。
停止中：
：録音可能なディスクが入っているとき、●キーを押すと、録音一時停止状態になります。
（現在録音されている最終トラックの後ろへの録音一時停止状態になります。）
録音一時停止中：
：●キーを押すと、その場所から新しいトラックとして、録音をします。このときトラックが、"1"繰り上がります。

リモコン部

本リモコンは、基本操作およびいろいろな応用操作キーが収納されており、さまざまな用途にご利用できます。
またリモコンを無くさぬように保管してください。

❶ 数字キー/文字部編集キー

数字キー

0-9：

：トラック番号をダイレクトに選択するときに使います。

+10：

：10以上のトラック番号を入力するときに使います。

+100：

：100以上のトラック番号を入力するときに使います。

：タイトル編集のとき、文字や記号の選択にも使います。

CHARACTER DELETE/CLEARキー

CHARACTER DELETE：

：タイトル入力のとき、文字を削除します。

CLEAR：

：編集の時、入れ換えた曲の取り消しに使います。

：プログラムを削除します。

CHARACTER SPACE/CHECKキー

CHARACTER SPACE：

：タイトル入力のとき、1文字ぶんの空白を挿入します。

CHECK：

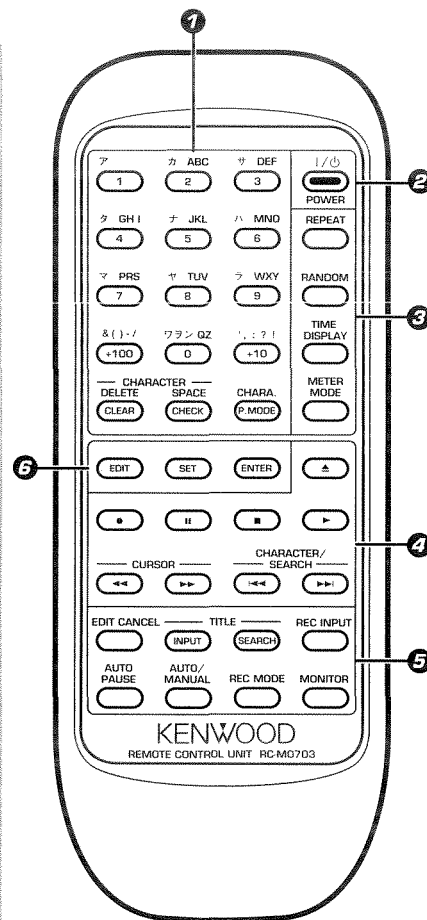
：プログラム内容を確認します。

CHARA./P.MODEキー

CHARA.：

：タイトル入力のとき、文字グループの選択に使います。

P.MODE：

：プログラム再生するときに使います。

型名：RC-M0703
赤外線方式

❺ 応用操作キー

EDIT CANCELキー

：編集作業の取り消しに使います。

TITLE INPUTキー

：タイトル入力モードのオン／オフをします。

TITLE SEARCHキー

：タイトルサーチモードのオン／オフをします。

：タイトル編集中、タイトル変更入力時の"上書きモード"、"挿入モード"の切り換えをします。

REC INPUTキー

：録音入力のデジタル(オプチカル/コアキシャル),アナログ、モノラルのいずれかに切り換えします。

AUTO PAUSEキー

：再生中に、トラック番号が変わったところで一時停止ができます。

AUTO/MANUAL キー

：録音のとき,トラック番号を自動で付ける(AUTO)か､後で手動で付ける(MANUAL)かを選びます。

REC MODEキー

：各種録音設定値調整モード（録音モード）のオン／オフをします。

MONITORキー

：停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

❷ ON/STANDBYキー

：電源のオン(I)/スタンバイ(⏻)を切り換えします。

❸ 表示関連/REPEATキー

REPEATキー

：繰り返し再生のオールリピートモードの切り換えに使います。

RANDOMキー

：ランダム再生をするときに使います。

TIME DISPLAY キー

：時間およびタイトル表示のモードを切り換えます。

METER MODEキー

：レベルメーター表示の内容を切り換えます。

❹ 基本操作キー

⏏	:イジェクトキー
●	:録音キー
⏸	:一時停止キー
■	:停止キー
▶	:再生キー
⏮ , ⏭	:飛び越しキー

CURSOR /◀◀ , ▶▶ キー

◀◀ , ▶▶：

：再生のとき、早送り､早戻しキーとして使います。

CURSOR：

：タイトル入力時は、カーソルの移動に使います。

CHARACTER/SEARCHキー

CHARACTER：

：タイトル入力のとき、文字グループの選択に使います。

SEARCH：

：再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。

❻ 編集モードキー

EDITキー

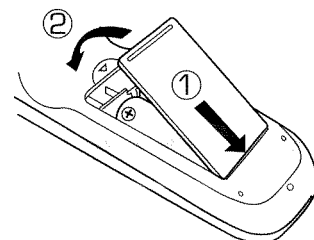
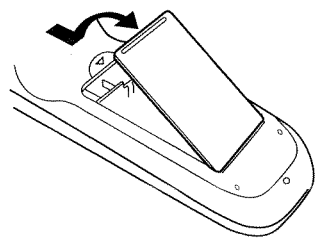
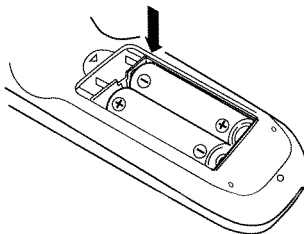
：編集モードのオン／オフをします。

SETキー

：編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。

ENTERキー

：編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。

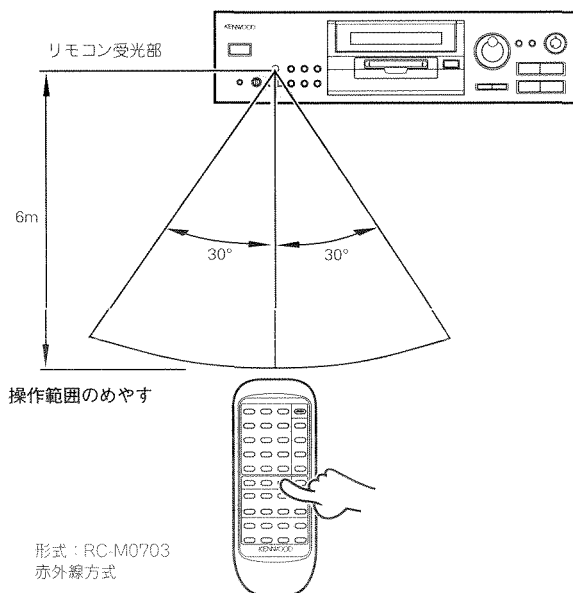
電池の入れかた

1 ふたを開ける

2 電池を入れる

●単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

3 カバーを閉める

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体のPOWER(パワー)キーをオンにしてからリモコンの"ON/STANDBY"(オン/スタンバイ)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

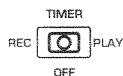
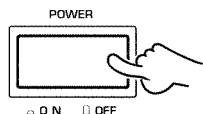
ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

MDを再生する前に

TIMER（タイマー）スイッチをオフにする。

モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、"モノラル長時間モード"で録音されたミニディスクも再生できます。"モノラル長時間モード"の場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間(録音時間)はステレオモード時の2倍(最大148分)になります。

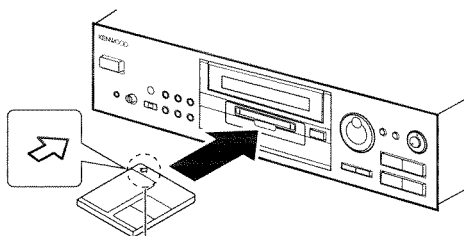
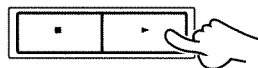
- "モノラル長時間モード"で録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生ができません。

1曲目から順に聴く

1 電源を入れる

NO DISC

ミニディスクが入っていないとき

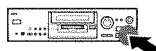
- "-STANDBY-"（スタンバイ）と表示したときは、リモコンのON（オン）(|)/STANDBY（スタンバイ）(⏻)キーを押して電源をいれてください。

2 ミニディスクを入れる

矢印の方向に入れる

- ミニディスクを本機の挿入口へ、確実に差し込んでください。
- " READING"（リーディング）が点滅して、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

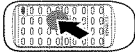
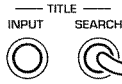
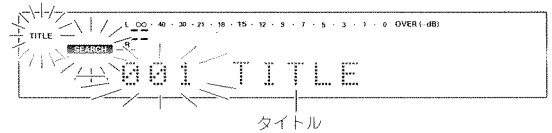
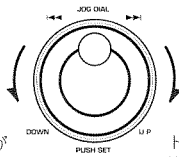
SINGLE 001 0:00

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのCHARA.（キャラクター）/P.MODE（プレイモード）キーを押して消灯させてください。

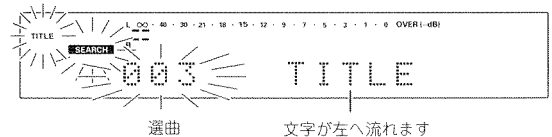
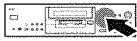
3 再生を始める

- 数秒後に、1曲目から再生します。

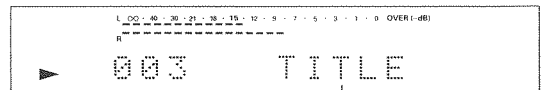
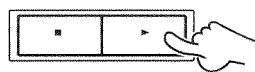
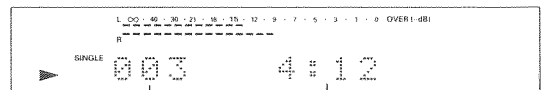
再生中のトラック番号　再生中の曲の経過時間

準備しましょう

❶ MDを停止する。
❷ トラックモードにする(PGM消灯)

聴きたい曲をタイトルで探す(TITLE SEARCH)

1 TITLE SEARCHキーを押す

もう一度TITLE SEARCHキーを押すと、トラックナンバー選択モードが解除します。

タイトル

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"・・・・・・・・"が表示されます。
- 停止中でも、再生中でも可能です。

2 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ

トラック番号が戻る

トラック番号が進む

もう一度TITLE SEARCHキーを押すと、トラックナンバーが解除します。

選曲　文字が左へ流れます

3 再生を始める

文字が左へ流れます

再生中のトラック番号　再生中の曲の経過時間

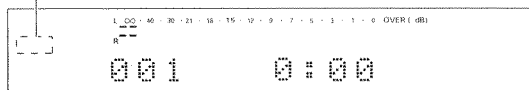
- 数秒後に、再生します。

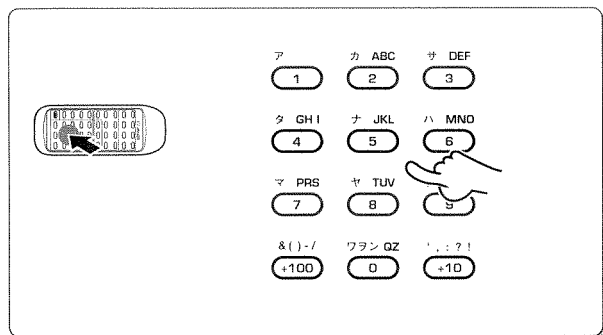
聴きたい曲を選ぶ

1 トラックモードにする

押すたびに切り換わります。

① トラックモード　:PGM消灯
② プログラムモード :PGM点灯

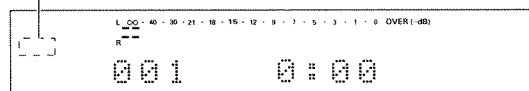
"PGM"消灯

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのCHARA./P.MODE（キャラクター/プレイモード）キーを押して消灯させてください。

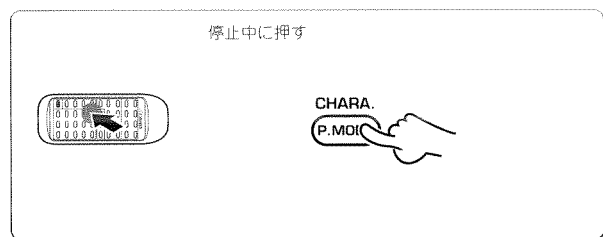
2 聴きたい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は…

23曲目　:[+10] [+10] [3] の順に押す
40曲目　:[+10] [+10] [+10] [+10] [0]　の順に押す
212曲目 :[+100] [+100] [+10] [2] の順に押す

曲の途中をダイレクトに再生するには…

7曲目の前半を再生(7.2)　:[7] [0] [2] の順に押す
7曲目の真ん中を再生(7.5) :[7] [0] [5] の順に押す
7曲目の後半を再生 (7.8)　:[7] [0] [8] の順に押す
再生中の真ん中を再生(.5) :[0] [5]　の順に押す

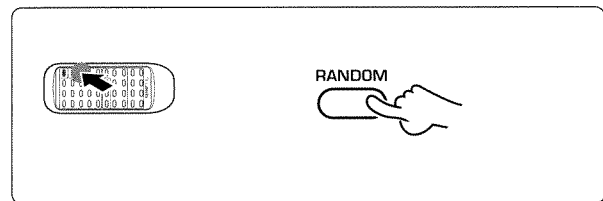
- "READING"（リーディング）が点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

RANDOM（ランダム）再生するには

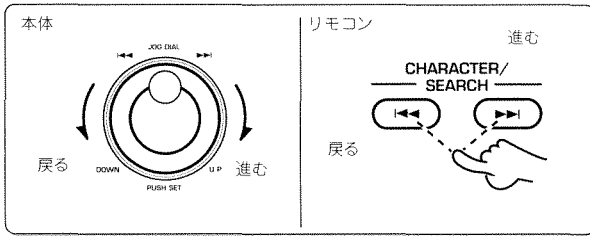
1 トラックモードにする

押すたびに切り換わります。

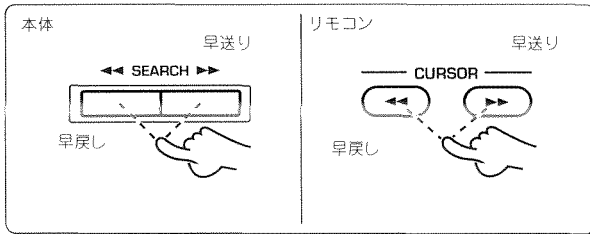
① トラックモード　:PGM消灯
② プログラムモード :PGM点灯

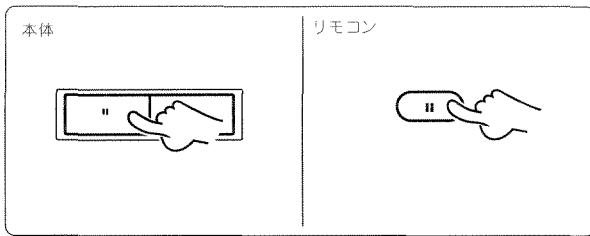
"PGM"消灯

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのCHARA./P.MODE（キャラクター/プレイモード）キーを押して消灯させてください。

2 RANDOM（ランダム）キーを押す

- プログラムモードでのランダム再生はできません。

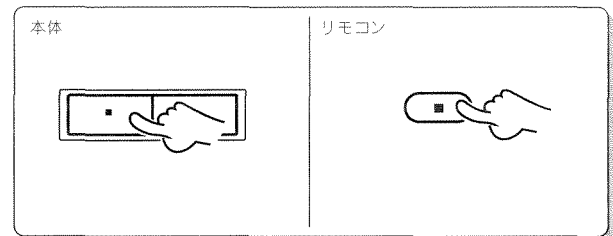
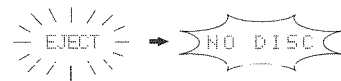
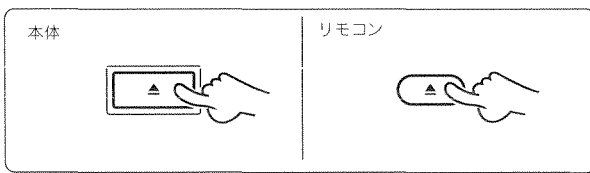
曲を飛び越すには（スキップ）

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- 前曲の最初に戻るときは、再生中約2秒以内に⏮キーを操作します。

早送り・早戻しするには（サーチ）

- キーから手を離したところから、再生します。（一時停止中にサーチした場合は、サーチ先で一時停止になります）
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 再生一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲のはじめまでくると、その曲を再生します。 →18

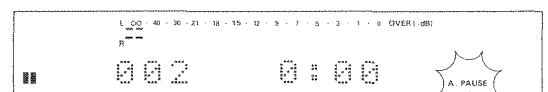
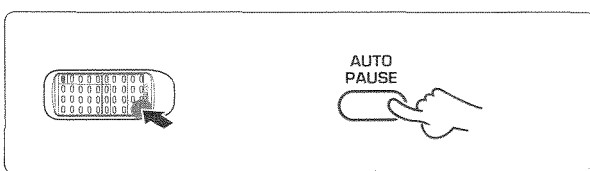
一時停止するには

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには

ミニディスクを取り出すとき

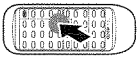
EJECT → NO DISC

ミニディスク排出

AUTO PAUSE（オート ポーズ）キーについて

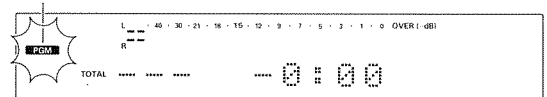
このキーを押すと、1曲再生終了ごとに一時停止します。
この機能は、語学のレッスンや各曲の後に間が欲しいときに便利です。

"A. PAUSE"点灯

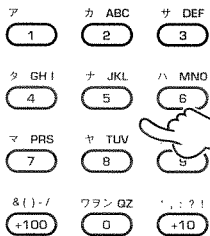
- 再生するときは、▶キーを押します。
- 本機能を使用しないときは、必ずAUTO PAUSEキーを押して"A. PAUSE"の表示を消灯してください。

プログラムのしかた

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう

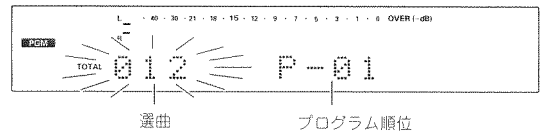
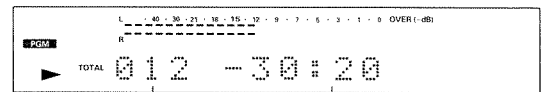
❶ ミニディスクを入れる。
❷ MDを停止する。

曲順を自由にプログラムする

1 プログラムモードにする

押すたびに切り換わります。

① トラックモード　：PGM消灯
② プログラムモード：PGM点灯

"PGM"点灯

2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

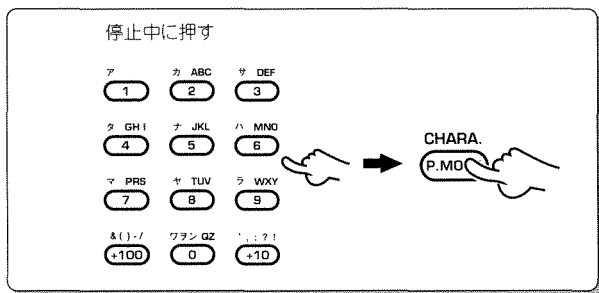
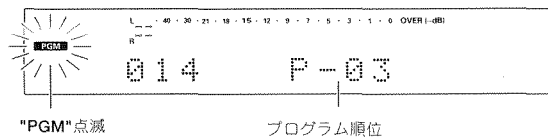
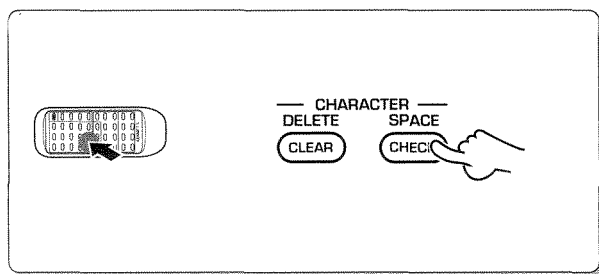
❶ 聴きたい曲番号を、順に選ぶ

数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき: [+10] [2]、CHARA./P.MODEキー の順に押す。

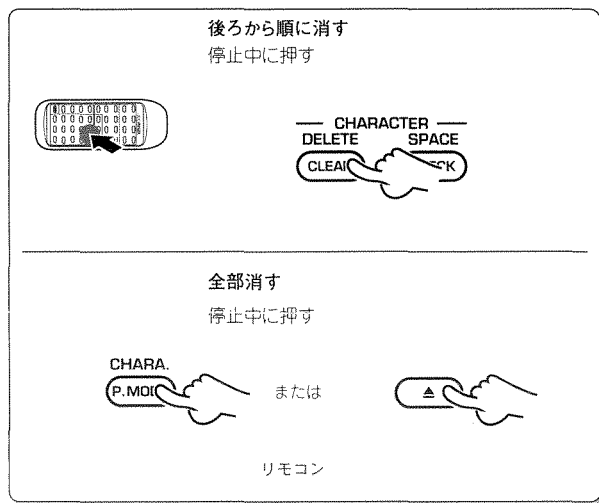
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示したときは、それ以上プログラムを受け付けません。
- 間違えたときはCHARACTER DELETE/CLEARキーを押してから、選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が "-＊＊:＊＊"になります。

❷ 確定する

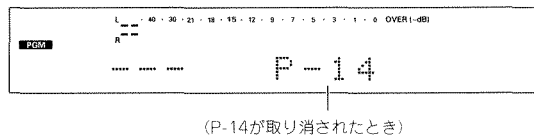
- 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力が中止されます。

手順❶と❷を繰り返して、希望の曲順に並べます。

3 再生する

再生中のトラック番号　　総プログラム曲の残り時間

- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、⏮ または ⏭ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには

- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にCHARA./P.MODE(キャラクター プログラムモード)キーを押さないと入力が中止されます。

曲順を確かめるには

"PGM"点滅　　プログラム順位

- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには

取り消された後の、最後のプログラムを表示

(P-14が取り消されたとき)

- プログラムの内容が、全部消えます。

プログラムした曲を繰り返し聴くことができます。

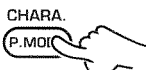
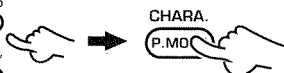
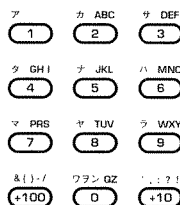
準備しましょう

MDを停止する。

繰り返し聴く（REPEAT）

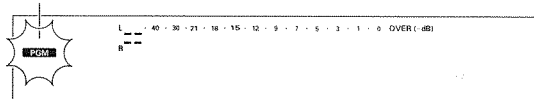
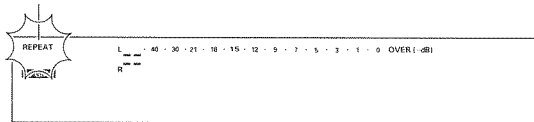
選んだ曲だけを繰り返すには

❶ 繰り返す曲を選ぶ

① プログラムモードにする

押すたびに切り換わります。

① トラックモード　：PGM消灯
② プログラムモード：PGM点灯

"PGM"点灯

② 順に曲を選ぶ

● 選んだ曲全部を繰り返します。
● 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

❷ 手順②を繰り返す

❸ リピートモードにする

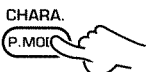
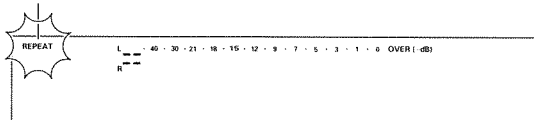
"REPEAT"点灯

❹ 再生する

繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEAT（リピート）キーを押します。

● "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード（PGM）に従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

❶ トラックモードにする

押すたびに切り換わります。

① トラックモード　：PGM消灯
② プログラムモード：PGM点灯

❷ リピートモードにする

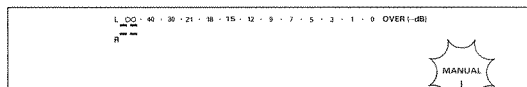
"REPEAT"点灯

❸ 再生する

繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEAT（リピート）キーを押します。

● "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード（トラック）に従った再生に戻ります。

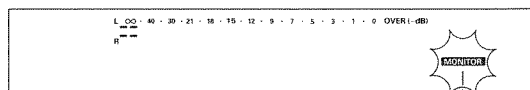
便利な録音関連キーの使い方

AUTO/MANUALキーについて

録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。
トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

"AUTO" 時消灯、"MANUAL" 時点灯

AUTO:
録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除します。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。
CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。無音の検出はしません。
CDのマニュアルサーチ中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。
再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

MANUAL:
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(EDITキーを押す)または録音後(TRACK DIVIDEを操作する-34)、トラック番号を付けることができます。
ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

MONITORキーについて

停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。
REC INPUTがDIGITALの場合、その信号のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、32kHz)の表示をします。

"MONITOR"点灯

録音関係の設定調整モード表示を選択し、各種設定値の調整ができます。

REC MODEキーについて

微調整の設定のしかた

❶ "REC MODE"をオンにする

押すたびに切り換わります。

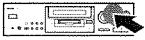
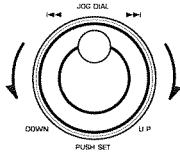
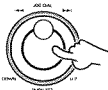
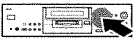
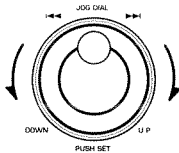
① REC MODE:オフ
② REC MODE:オン("D. REC LEVEL?"表示)

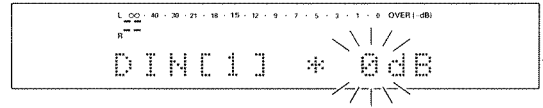
❷ 設定調整モードを選ぶ

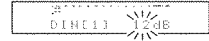
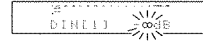
ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

① D. REC LEVEL? ：デジタル録音レベル設定
② AUTO TIME? ：AUTO TNOの無音検出時間の設定
③ AUTO LEVEL? ：AUTO TNOの無音検出レベルの設定
④ FADE TIME? ：FADEモード時のFADE時間の設定
⑤ REC→ WRITING? ：録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

❸ 確定する(ジョグダイアルを押す)

● "D. REC LEVEL"と "FADE TIME"は、アナログ録音のときは働きません。

❹ 調整する

続けて他の設定を変更したい場合は、PUSH SETつまみを押します。
(手順❷へ進みます。)
終了したいときは、REC MODEキーを押します。

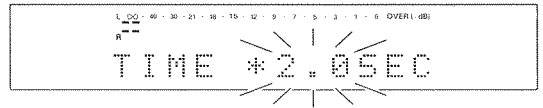
● 手順❷で選んだ"**設定調整モード**"の設定内容を手順❹で変更します。

"D. REC LEVEL ?"表示を選択の場合

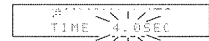
（デジタル録音時に有効です。）

"D. REC LEVEL ?"表示のとき、SETキーを操作するとデジタル録音レベルの初期表示になります。
このとき、スキップアップ／ダウンキーで現在の選択されているデジタル入力の録音レベルを設定することができます。
初期設定は"DIN [1] ＊0dB"となり、-∞から+12dBまでのレベルが設定できます。

初期表示

DIN[1] ＊ 0dB

調整値表示

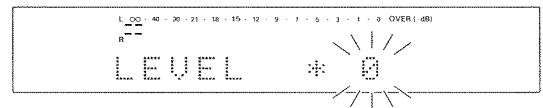
DIN[1] -∞dB　　DIN[1] 12dB

"AUTO TIME ?"表示を選択の場合

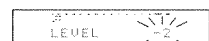
（アナログ録音時に有効です。）

"AUTO TIME ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出時間設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ／ダウンキーで無音検出時間を設定することができます。
初期設定は"TIME ＊2.0SEC"となり、0.5秒ステップで0.5から4.0秒までの時間が設定できます。

初期表示

TIME ＊2.0SEC

調整値表示

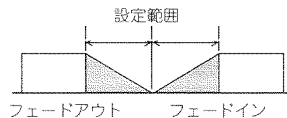
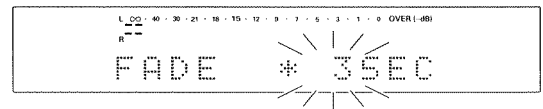
TIME 0.5SEC　　TIME 4.0SEC

"AUTO LEVEL ?"表示を選択の場合

（アナログ録音時に有効です。）

"AUTO LEVEL ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出レベル設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ／ダウンキーで無音検出レベルを設定することができます。
初期設定は"LEVEL ＊0"となり、+2から-2までのレベルが設定できます。

初期表示

LEVEL ＊ 0

調整値表示

LEVEL +2　　LEVEL -2

"FADE TIME ?"表示を選択の場合

（デジタル録音時に有効です。）

"FADE TIME ?"表示のとき、SETキーを操作すると"フェードタイム"の設定の初期表示になります。
このとき、フェードイン／アウトにかける時間を設定することができます。
初期設定は"FADE ＊ 3SEC"となり、1秒ステップで1から10秒までの時間が設定できます。

初期表示

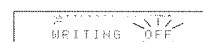
調整値表示

FADE 1SEC　　FADE 10SEC

設定範囲

フェードアウト　　フェードイン

"REC→WRITING ?"表示を選択の場合

"WRITING"とは、ミニディスクに情報を書き込んでいる状態をいいます。
"REC→WRITING ?"表示のとき、SETキーを操作すると"書き込みモード"の設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ／ダウンキーで録音終了時のUTOC書き込みのオン／オフを設定することができます。
初期設定は"WRITING ＊ON"となります。

初期表示

調整値表示

WRITING OFF

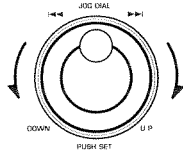
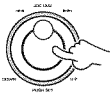
使用例：
オンのとき：通常録音（CDからMDなど）に使います。
オフのとき：短い音楽やチューナーからの放送録音時、WRITING動作に入らないので即座に録音することができます。

録音のしかた（ANALOG）

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音しています。(以後、アナログ録音と呼びます。)

準備しましょう
❶ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 →4
❷ミニディスクを入れる。
❸録音可能時間を確かめる。 →48
❹アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

ANALOG録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき

❶ "REC MODE"をオンにする

押すたびに切り換わります。
① REC MODE：オフ
② REC MODE：オン（"D. REC LEVEL?"表示）

❷ 設定調整モードを選ぶ

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。
① D. REC LEVEL? ：デジタル録音レベル設定
② AUTO TIME? ：AUTO TNOの無音検出時間の設定
③ AUTO LEVEL? ：AUTO TNOの無音検出レベルの設定
④ FADE TIME? ：FADEモード時のFADE時間の設定
⑤ REC→ WRITING? ：録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

● 設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。 →22

❸ 確定する（ジョグダイアルを押す）

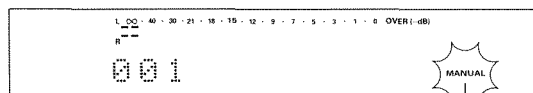
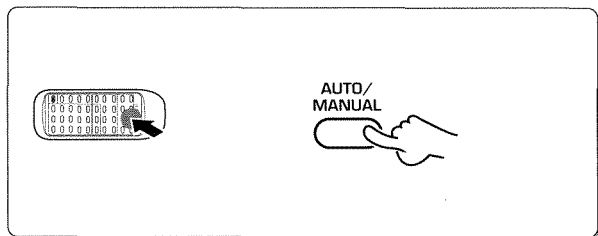
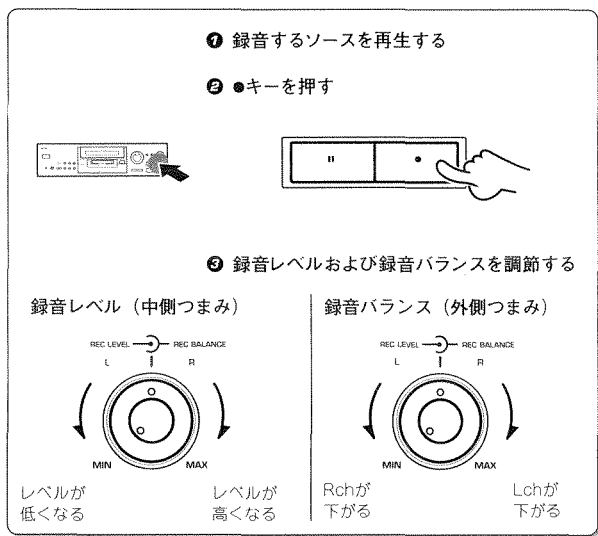
設定調整不要の場合は、手順2へ進みます。

● "D. REC LEVEL"と "FADE TIME"は、アナログ録音のときは働きません。

2 "ANALOG"または"MONO"を選ぶ

押すたびに切り換わります。
① ANALOG ：アナログ"ステレオモード"
② DIGITAL 1 ：COAXIALモード
③ DIGITAL 2 ：OPTICALモード
④ DIGITAL 3 ：COAXIALモード
⑤ MONO ：アナログ"モノラル長時間モード"

"ANALOG"点灯

● 録音の一時停止中は、MONOには切り換わりません。
● MONOの一時停止中は、REC INPUTの切り換えはできません。
● アナログ"モノラル長時間モード"で録音すると、ステレオで録音したときの約2倍の時間を録音することができます。

3 "AUTO"または"MANUAL"にする

押すたびに切り換わります。
①消灯(AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき →21
②MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき →21

"AUTO"時消灯、"MANUAL"時点灯

4 録音レベルを調節する (本体のみ)

❶ 録音するソースを再生する

❷ ●キーを押す

● ●キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

❸ 録音レベルおよび録音バランスを調節する

録音レベル (中側つまみ)

レベルが低くなる　レベルが高くなる

録音バランス (外側つまみ)

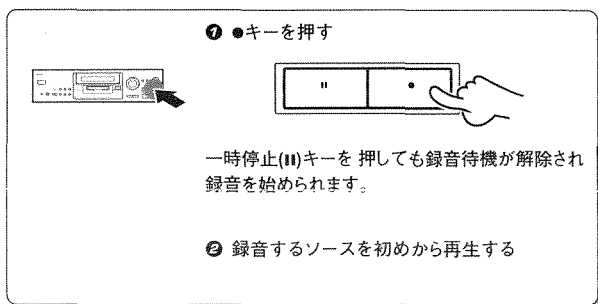
Rchが下がる　Lchが下がる

● レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。

5 録音を始める

❶ ●キーを押す

一時停止(II)キーを 押しても録音待機が解除され録音を始められます。

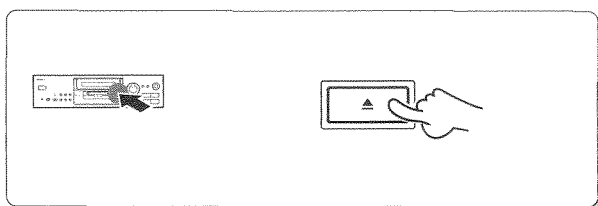
❷ 録音するソースを初めから再生する

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき録音はできません。

"DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている
➡不要な曲を消す。 →38 →40
"PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている
➡閉める。 →4
"PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである
➡録音用ミニディスクを入れる。 →6

● 録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

6 録音終了後、ミニディスクを取り出す

WRITING → EJECT → NO DISC

情報を書き込み中　ミニディスク排出

● 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。

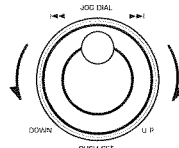
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

録音のしかた(DIGITAL)

DM-9090 (J)

録音用ミニディスクを使用して録音することができます。本機がCDプレーヤー等のデジタル出力を持った機器と、デジタルコードまたは光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態で録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

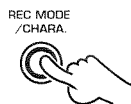
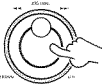
準備しましょう

❶ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 →4
❷ミニディスクを入れる。
❸録音可能時間を確かめる。 →48
❹アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

DIGITAL録音のしかた

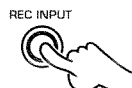
1 微調整の設定をしたいとき

❶ "REC MODE"をオンにする

❷ 設定調整モードを選ぶ

❸ 確定する(ジョグダイアルを押す)

設定調整不要の場合は、手順2へ進みます。

押すたびに切り換わります。

① REC MODE:オフ
② REC MODE:オン("D. REC LEVEL?"表示)

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

① D. REC LEVEL? :デジタル録音レベル設定
② AUTO TIME? :AUTO TNOの無音検出時間の設定
③ AUTO LEVEL? :AUTO TNOの無音検出レベルの設定
④ FADE TIME? :FADEモード時のFADE時間の設定
⑤ REC→WRITING? :録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

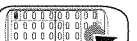
●設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。 →22

2 "DIGITAL1,2,3"のいずれかを選ぶ

押すたびに切り換わります。

① ANALOG :アナログ"ステレオモード"
② DIGITAL 1 :COAXIALモード
③ DIGITAL 2 :OPTICALモード
④ DIGITAL 3 :COAXIALモード
⑤ MONO :アナログ"モノラル長時間モード"

3 フェードをかけて録音するとき

停止中に押す

押すたびに切り換わります。

① FADE 消灯:フェードモードオフ
② FADE 点灯:フェードモードオン

●フェードについての詳細は、"FADE TIME?"表示を選択の場合(→23)、および"MDのフェード録音について"(→28)を参照してください。

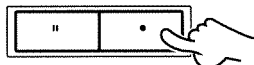
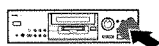
4 "AUTO"または"MANUAL"にする

押すたびに切り換わります。

①消灯(AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき →21
②MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき →21

5 デジタル録音レベルを変更したいとき

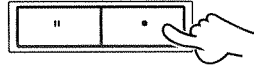
❶ 録音するソースを再生する

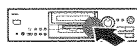
❷ ●キーを押す

●●キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

❸ デジタル録音レベルを変更する

REC MODEをオンにして、設定調整モードの"D.REC LEVEL?"表示を選び、JOG DIALで調節します。

●レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。

6 録音を始める

一時停止(II)キーを 押しても録音待機が解除され録音を始められます。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

" DISC FULL "	:ミニディスクが一杯になっている。 ➡不要な曲を消す。 →38 →40
" 001 UNLOCK "	:デジタルコードまたは光ファイバーケーブルが外れているか、不完全である。(接続されていない) ➡デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 →8
" 001 SCMS ON "	:SCMSによってデジタル録音禁止になっている。 ➡アナログ録音にする。 →24
" 001 NotAudio "	:入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。 ➡アナログ録音にする。 →24
"PROTECTED"	:誤消去防止つまみが開いている。 ➡閉める。 →4
"PLAY ONLY"	:再生専用ミニディスクである。 ➡録音用ミニディスクを入れる。 →6

●録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
●トラック番号(001)の表示は、録音を一時停止したときのトラックを表示しています。
●録音中に一時停止をしたとき、再び録音を開始すると、トラック番号は"1"繰り上がります。

7 録音したいソースを再生する

●曲の初めから余裕をもって録音するには、MDレコーダーの時間表示が動き始めてから、録音したいソースの再生を始めてください。

8 録音終了後、ミニディスクを取り出す

●録音中は、イジェクト(⏏)キーは、受け付けません。

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は**"再生中の曲を消す(TRACK ERASE)"**を参照して削除してください。 →38

CDとのシンクロ録音のしかた

ケンウッド製のシステムコントロール端子の付属した"SL16"タイプのアンプおよびCDプレーヤーと本機をシステムコントロールコードで接続されていると、本機とCDプレーヤーを同時にスタートさせることができます。

1. アンプの入力切り換えをCDにする
2. CDを一時停止にする
3. CDの録音したい曲を⏮、⏭キーで選ぶ
4. MDレコーダーを録音一時停止にする
5. CDの再生を始める

録音をやめるには

■キーを押してから、⏏キーを押します。

DIGITAL録音とSCMSについて

ミニディスクでは、下記の条件において、デジタル録音することはできません。

コピー禁止コードが付いているとき、、"001SCMS ON"と表示して録音一時停止になります。
(トラック番号"001"を録音中にコピー禁止になった場合)

サンプリング・レート・コンバーターについて

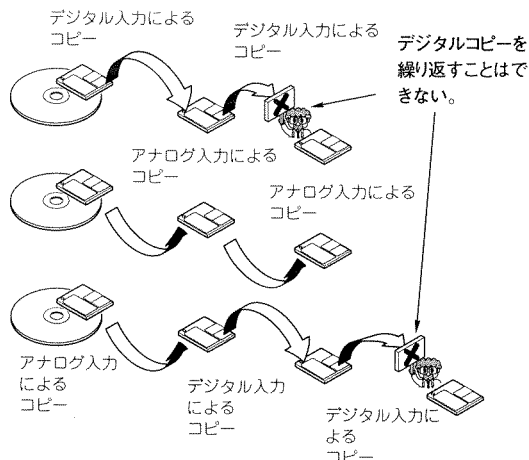
通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz　:DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
44.1 kHz :DATの標準モード、CD、MD等。
32 kHz　:DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できませんが、本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、48 kHz、32 kHzのデジタル信号はMDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して、録音することができます。
衛生放送によっては、SCMSが働くことがあります。

(DAT:Digital Audio Tapedeck)

SCMS (Serial Copy Management System) について

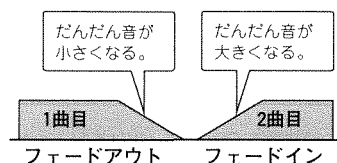
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

MDのフェード録音について

本機は、FADEキーを押すごとにフェードモードのオン／オフを切り換えます。

フェード・インの録音動作:
フェードモード中に停止(または録音一時停止)から録音の動作を行うと、ATT=-∞から録音を開始し、設定されている録音レベルまでフェード・インし、録音を続けます。

フェード・アウトの録音動作:
フェードモード中に録音から停止の動作を行うと録音の動作は、現在の録音レベルからATT=-∞まで　フェード・アウトし、停止する。
ただし、ディスクの最終まで録音しようとするときは、自動的にフェード・アウト後、録音→停止します。

フェードイン／フェードアウトとは

フェードアウト：だんだん音を小さくして曲が終わること
フェードイン　：だんだん音を大きくして曲が始まること

編集機能

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。
("PGM"表示点灯のときは、編集できません。)

MD規格上の機能制限について

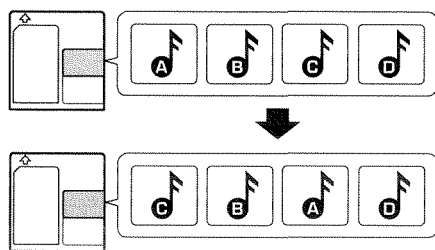
いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認くださいますようお願いします。 →50

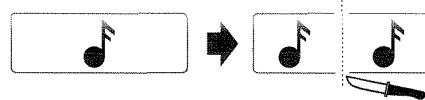
本機で編集中は、サイバータイトラー（CT-G90別売またはCT-H90別売）からのタイトル転送はできません。

編集機能のタイプを選ぶ

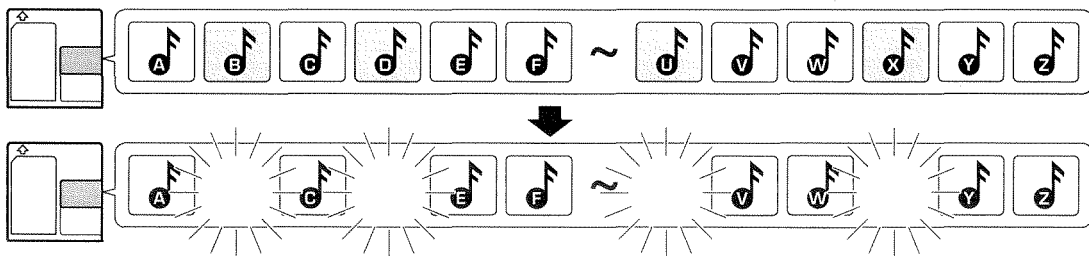
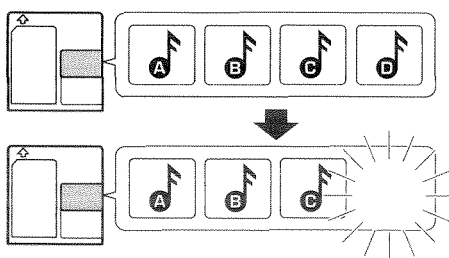
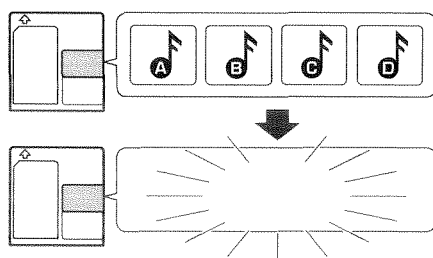
曲の入れ換え

再生中の曲を入れ換える(TRACK MOVE) →30

曲をまとめて入れ換える(QUICK MOVE) →32

曲の分割と結合

再生中の曲を分ける(TRACK DIVIDE) →34

再生中の曲をつなぐ(TRACK COMBINE) →36

任意の曲の消去(QUICK ERASE)

任意の曲を消す(QUICK ERASE) →40

再生中の曲を消す(TRACK ERASE) →38

全曲消す(ALL ERASE) →40

タイトル編集のしかた →42

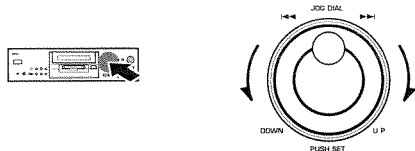
ミニディスクや曲にタイトルをつけたり、タイトルを変更、消去することができます。

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

準備しましょう

❶ MDを再生する。
❷ EDIT/SPACE(エディット/スペース)キーを押し、編集モードをオンにする。

再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)

1 "MOVE"(ムーブ)を選ぶ

❶ "MOVE"(ムーヴ)を選ぶ

❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。

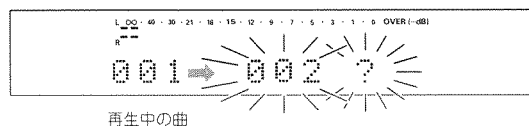
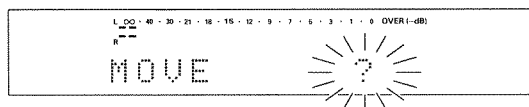
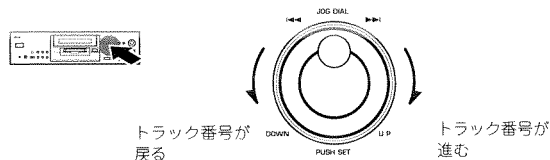
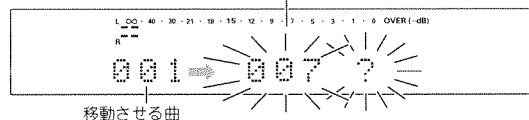
① DIVIDE(ディバイド) ? :曲を分ける
② COMBINE(コンバイン)? :曲をつなぐ
③ ERASE(イレース) ? :曲の消去
④ MOVE(ムーブ)? :曲順を入れ換える

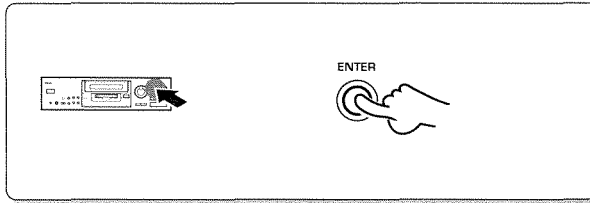
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

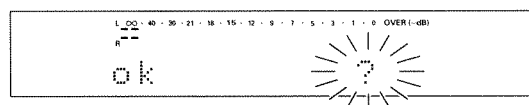
再生中の曲

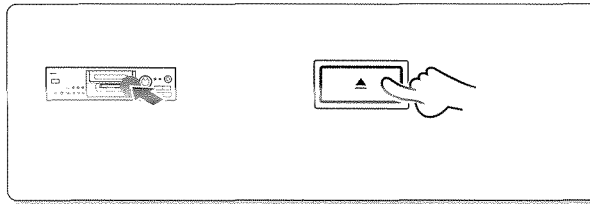
2 移動先の曲を選ぶ

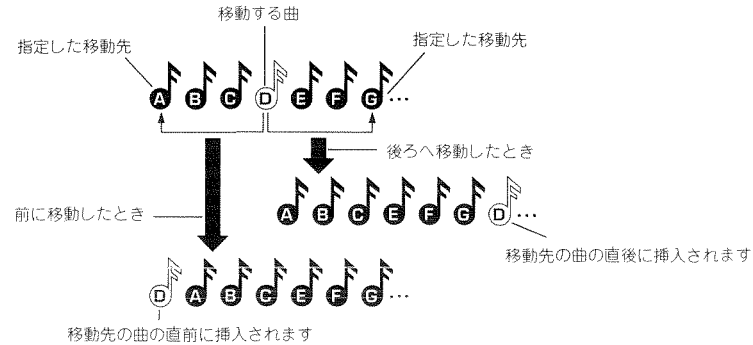
❶ 移動先の曲(トラック番号)を選ぶ

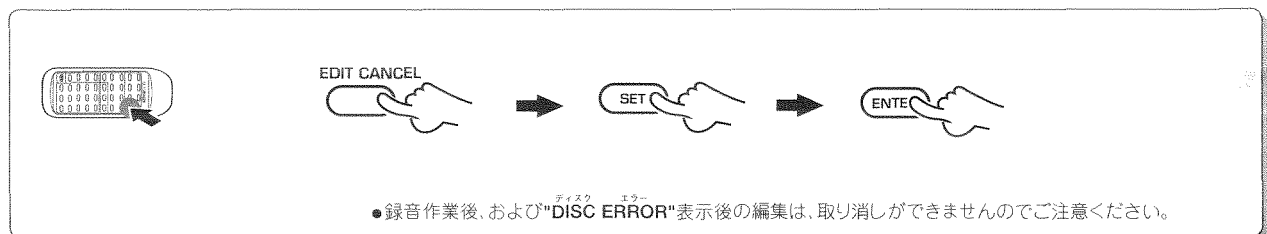
トラック番号が戻る　トラック番号が進む

❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

移動例:1曲目を7曲目にする。

移動先のトラック番号

移動させる曲

3 曲順の入れ換えを実行する

実行後の表示

EDIT NOW !	:編集中
COMPLETE !	:編集完了
CAN' T EDIT	:編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

4 ミニディスクを取り出す

" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ

編集した内容を取り消すとき(EDIT CANCEL)

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れた状態に戻すことができます。
取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。

- 録音作業後、および"DISC ERROR"表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

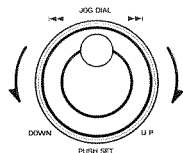
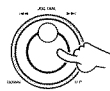
並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

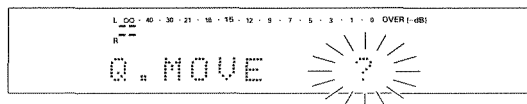
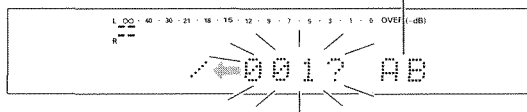
準備しましょう

❶ MDを停止する。
❷ EDIT/SPACE(エディット スペース)キーを押し、編集モードをオンにする。

1回の処理で入れ換えられるのは、連続する255曲の範囲です。

曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)(クイック ムーブ)

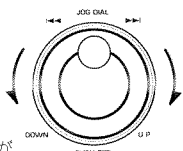
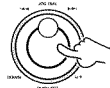
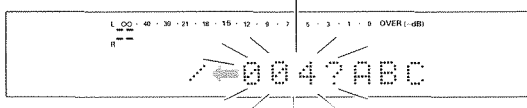
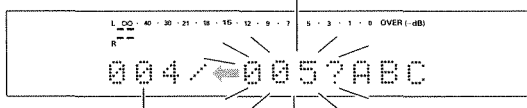
1 "Q. MOVE"(クイックムーブ)モードを選ぶ

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。
①Q. MOVE?(クイックムーブ) :曲をまとめて入れ換える
②Q.ERASE?(クイックイレース) :曲をまとめて消去

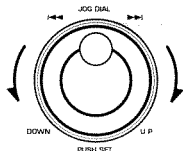
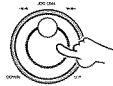
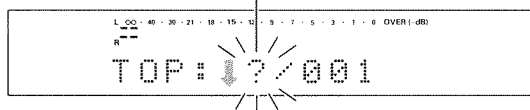
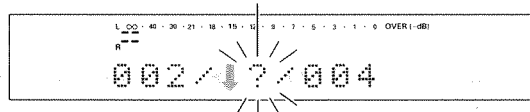
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

- 中止するときは、もう一度EDIT/SPASE(エディット スペース)キーを押します。

2 移動したい曲を選ぶ

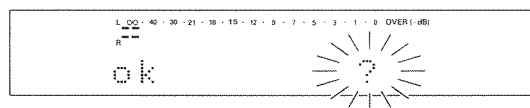
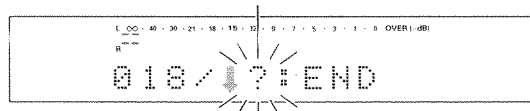
❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る　トラック番号が進む

❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

手順❶と❷を繰り返して、移動したい曲を選びます。

- FADE/DELETE(フェード デリート)キーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。

3 移動したい曲の選択を終了する

4 移動先を決める

トラック番号の最初に移動したとき:

トラック番号の間に移動したとき:

トラック番号の最後に移動したとき:

5 曲順の入れ換えを実行する

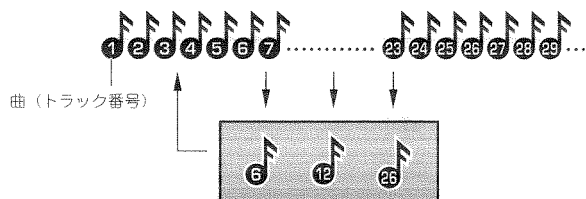
実行後の表示

EDIT NOW! :編集中
COMPLETE! :編集完了
CAN'T EDIT :編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ換えの途中でENTERキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- 表示が "COMPLETE !"点灯中に、▲キーやPOWERキーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

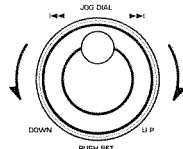
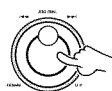
6 ミニディスクを取り出す

メモ " WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ換えるイメージ

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。
プレビューを使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整ができます。

準備しましょう

❶ MDの分割したい曲を再生する。
❷ EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認くださいますようお願いします。→50

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)

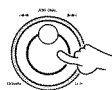
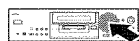
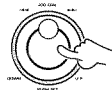
1 "DIVIDE"を選ぶ

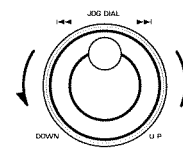
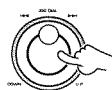
❶ "DIVIDE"を選ぶ

❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。

① DIVIDE ? :曲を分ける
② COMBINE? :曲をつなぐ
③ ERASE ? :曲の消去
④ MOVE ? :曲順を入れ換える

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

プレビュをしないときは、一度ENTERキーを押して(" ok ?"と表示)から手順 3 へ進みます。

2 プレビューをするとき

❶ 分割モードにする

DIVIDE+ 00

❷ プレビューの実行

PREVIEW 25SEC

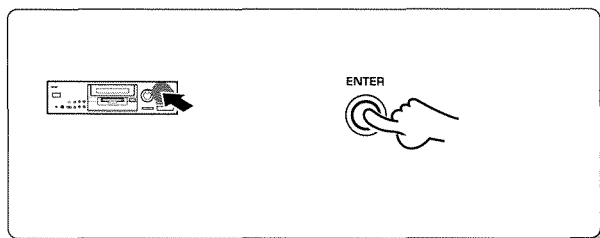
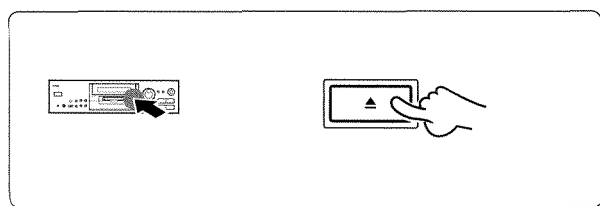
● 分割点の最初の3秒を繰り返します。
● 曲の最後のところでプレビューをすると、次の曲(最終曲の場合は1曲目)へと続けてプレビューしますが、次の曲に入ったところでは、ディバイドできません。

❸ 分割の微調整をする

DIVIDE+ 04

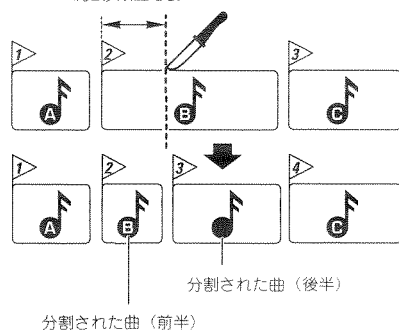
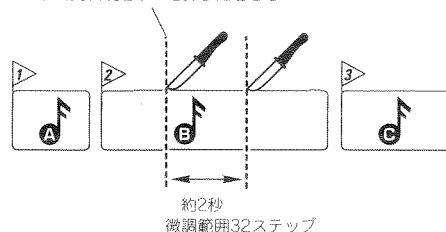
● 音を聴きながら、微調整ができます。
● 分割点の微調整は、始めにEDIT/SPACEキーを押したところから後に、約60mS(6/100秒)単位で32ステップ可能です。
分割したいところより、少し手前で操作してください。

❹ 分割点を確定する

3 曲の分割を実行する

手順1～3を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

EDIT NOW！ ：編集中
COMPLETE！ ：編集完了
CAN' T EDIT ：編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無録音部分がありません。
- MDの規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

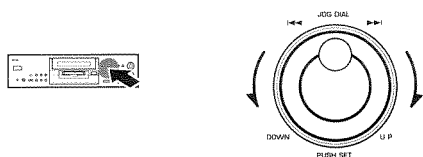
4 ミニディスクを取り出す

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

プレビューのイメージ

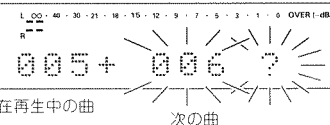
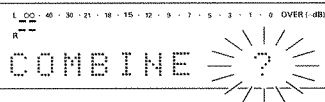
トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

準備しましょう

❶ MDのつなぎたい曲を再生する。
❷ EDIT/SPACE(エディット スペース)キーを押し、編集モードをオンにする。

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認くださいますようお願いします。 —50

再生中の曲をつなぐ(TRACK COMBINE)

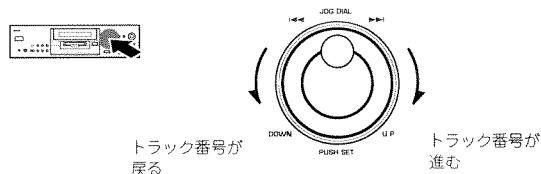
1 再生中、次の曲とつなぐとき

再生中に、次の曲とつなぐ場合は手順3へ進みます。

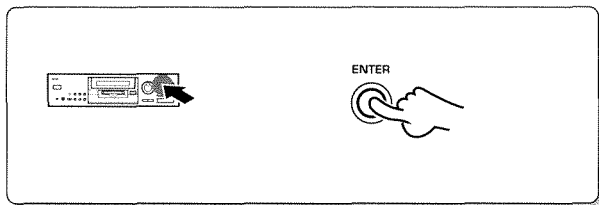
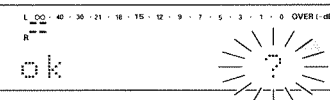
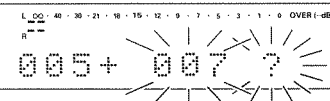
ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。

再生中:

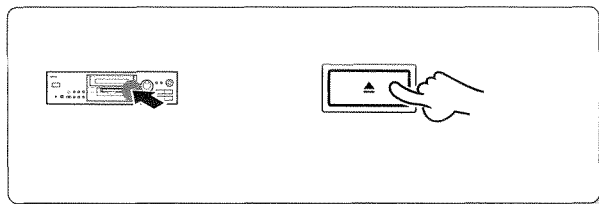
① DIVIDE ? :曲を分ける
② COMBINE? :曲をつなぐ
③ ERASE ? :曲の消去
④ MOVE ? :曲順を入れ換える

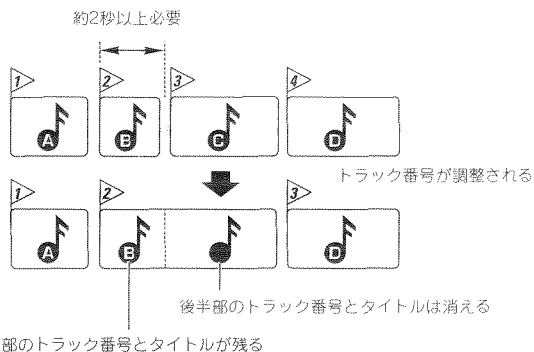
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

現在再生中の曲　次の曲

● 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中にEDIT/SPACEキーを押してください。(再生中の曲と、直後の曲がつながります)
● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

2 つなぎたい曲を選ぶとき

5曲目と7曲目をつなぐ場合:

3 曲と曲の結合を実行する

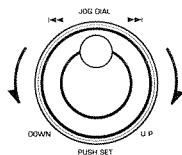
実行後の表示

EDIT NOW！　：編集中
COMPLETE！　：編集完了
CAN' T EDIT　：編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲で一時停止になります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

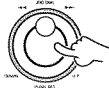
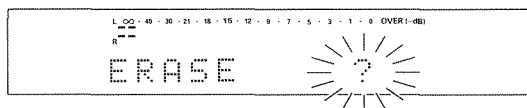
4 ミニディスクを取り出す

" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

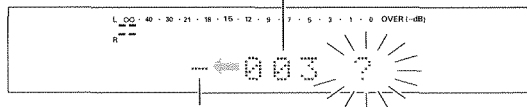
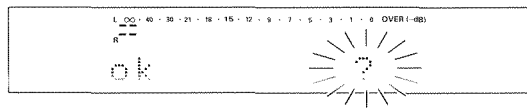
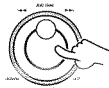
再生中にその曲のみ消去することができます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

準備しましょう

❶ MDを再生する。
❷ EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

再生中の曲を消す (TRACK ERASE)

1 "ERASE"を選ぶ

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。

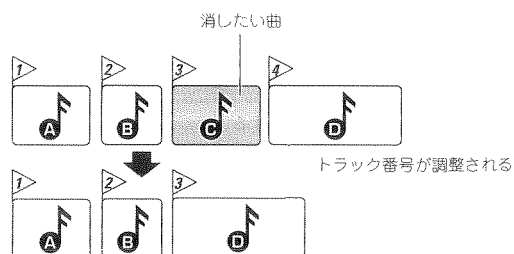
- ① DIVIDE ? :曲を分ける
- ② COMBINE? :曲をつなぐ
- ③ ERASE ? :曲の消去
- ④ MOVE ? :曲順を入れ換える

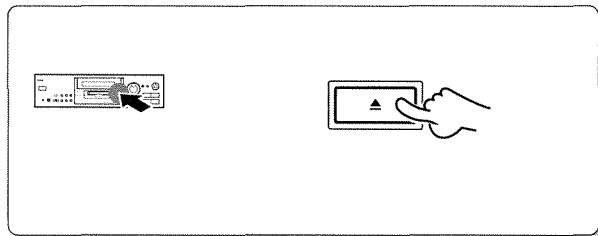
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 消去の確認

消去の確認

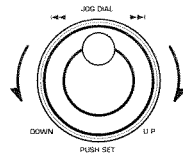
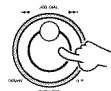
3 消去を実行する

実行後の表示

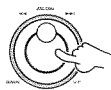
EDIT NOW ! :編集中
COMPLETE ! :編集完了
CAN' T EDIT :編集不完全

● 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
● 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
● 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

4 ミニディスクを取り出す

"WRITING（ライティング）"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

消したい曲のイメージ

停止中に、任意の曲を簡単に消去することができます。
消去すると元に戻れませんので、十分注意してください。

準備しましょう

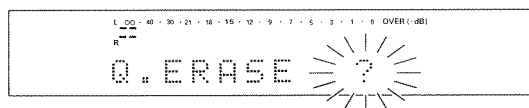
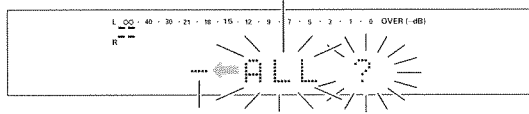
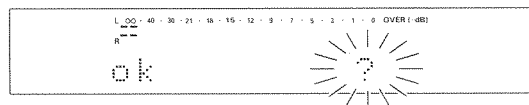
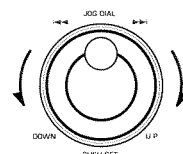
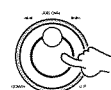
❶ MDを停止する。
❷ EDIT/SPACE(エディット スペース)キーを押し、編集モードをオンにする。

任意の曲を消す (QUICK ERASE(クイック イレース))

1 全曲消去するとき

❶ Q.ERASE(クイックイレース)モードを選ぶ

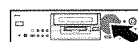
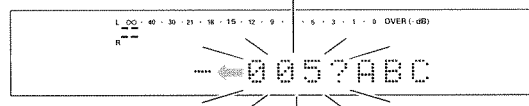
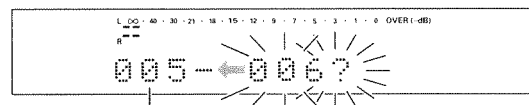
❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

❸ 確定する(ジョグダイアルを押す)

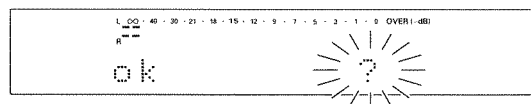
ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。
①Q. MOVE(クイックムーブ)? :曲をまとめて入れ換える
②Q.ERASE(クイックイレース)? :曲をまとめて消去

全曲消去の確認

消去の意味

消去の再確認

全曲を消去する場合は、手順4へ進みます。

2 任意の曲を消去するとき

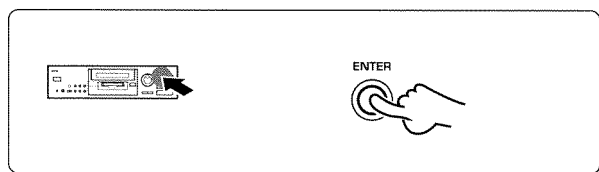
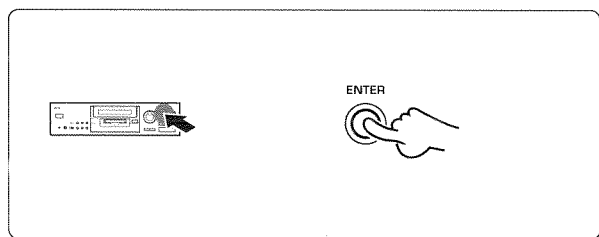
❶ 消すトラック番号を選ぶ

❷ 確定する(ジョグダイアルを押す)

手順❶から❷を繰り返し、任意の曲を消去することができます。

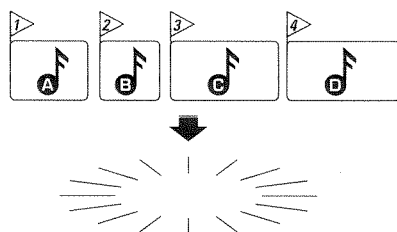
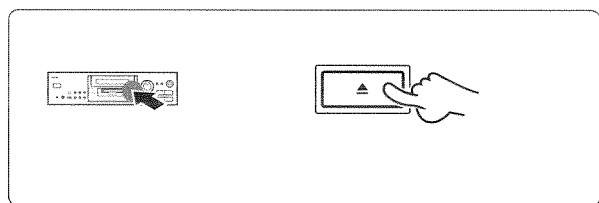
選んだ曲

タイトルスクロール

- FADE(フェード)/DELETE(デリート)キーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。

選んだ曲　次の曲

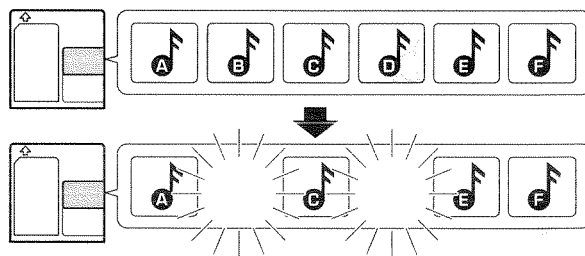
3 消去したい曲の選択を終了する

4 消去を実行する

実行後の表示

EDIT NOW！ ：編集中
COMPLETE！ ：編集完了
CAN' T EDIT ：編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 →31

5 ミニディスクを取り出す

" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

任意の曲の削除 (QUICK ERASE)イメージ

全曲を消去したとき：

任意の曲を消去したとき：

"DISC ERROR"表示をしたときは

正常なはずのミニディスクが、"DISC ERROR"表示になった時、"全曲消す(ALL ERASE)"の操作をする前に、もう一度ミニディスクを入れ直してください。正常にミニディスクの内容が読める場合があります。

L ∞ · 40 · 30 · 21 · 18 · 15 · 12 · 9 · 7 · 5 · 3 · 1 · 0 OVER (-dB)
R
DISC ERROR

- "DISC ERROR"表示後"ALL ERASE"操作は可能ですが、"EDIT CANCEL"はできません。

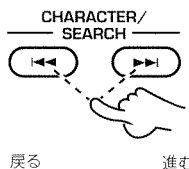
ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

準備しましょう

❶ MDを停止または再生する。
❷ TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押し、タイトル入力モードをオンにする。

プリセットタイトルについて

良く使うタイトルやお好みのタイトルを、任意のプリセットタイトルに記憶しておくと、タイトル編集が簡単に行うことができます。
お好みによりプリセットタイトル名の変更やミニディスクへそのタイトルを入力するには"タイトル編集のしかた"の操作で行います。
初期設定は次の通りです。
PRE1:Pops(ポップス)、PRE2:Rock(ロック)、PRE3:Classic(クラシック)、PRE4:Jazz(ジャズ)、PRE5:Disco(ディスコ)、PRE6:Best Hits(ベスト ヒッツ)、PRE7:Air Check(エアー チェック)、PRE8:No.、PRE9:Vol.、

● 変更したプリセットタイトルを初期設定に戻すには、"マイコンをリセットするには"を参照してください。 →50

タイトル編集のしかた

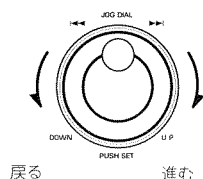
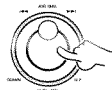
1 変更したい項目を選ぶ

本体　　リモコン

❶ 曲名かディスクタイトルを選ぶ

戻る　進む

戻る　進む

❷ 確定する

ジョグダイアルを押す

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

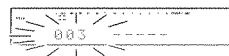
タイトルを入力するときは、手順2へ進みます。
タイトルを変更または削除するときは、手順3へ進みます。

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。

① DISC(ディスク)　:ディスクタイトル
② 001　:トラックタイトル
③ PRE 1-PRE 9(プリセット プリセット)　:プリセットタイトル
④ ALL ERASE ?(オール イレース)　:ディスクとトラックの全タイトル消去
⑤ CDtext LOAD?(テキスト ロード)　:テキストコピーの準備

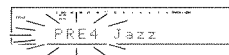
● "CDtext LOAD?"表示は、ケンウッド製のCDテキスト対応のCDプレーヤーを接続したときのみの仕様です。
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

ディスクタイトルのとき:"DISC"を選びます。

トラックタイトルのとき:目的のトラック番号を選びます。

プリセットタイトルのとき:目的のプリセット番号を選びます。

ディスクとトラックの全タイトル消去のとき:

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE(デリート))をご利用ください。

タイトル編集可能文字

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号(ASCII(アスキー)コード)などを選ぶことができます。

英字の大文字26種類：ABCD〜WXYZ
英字の小文字26種類：abcd〜wxyz
数字10種類：0123456789
スペース&記号25種類：　!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@_`
カタカナ文字81種類：アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン
アイウエオヤユヨツ
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボヴパピプペポー

カタカナの濁音(だくおん)、半濁音(はんだくおん)は本体のドット表示管には、2文字文使用して表示しています。

例:	ケ	ン	ウ	ッ	ト	゛

2 タイトルを入力するとき

本体　　リモコン

❶ 文字グループを選ぶ

下記の文字グループを選ぶことができます。

① A～Zと、スペース（1文字分の空白）
② a～zと、スペース
③ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル（9つ）
④ カタカナと、スペース

❷ 文字を選ぶ

戻る　　進む

および

ジョグつまみを操作するたびに切り換わります。

① A～Zと、スペース（1文字分の空白）：
→A→B→C→D→E→F→・・・・・・→X→Y→Z→

② a～zと、スペース：
→a→b→c→d→e→f→・・・・・・→x→y→z→

③ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル（9つ）：
→0→1→・・・・→9→　→!→"　・・・・→／→：→
PRE9←・・・・←PRE1←_←@←?←・・・・←；←

④ カタカナと、スペース：
→ア→イ→ウ→・・・・→レ→ロ→ワ→ヲ→ン→ァ→ィ
←-←ポ←ペ←プ←・・・・←ガ←ヴ←ョ←・・・・←ゥ

新規にタイトル入力する例：

初期表示

選択文字

- 表示がスクロールして、（同じグループ内の）すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。（例：[2] キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。）
- ◀◀、▶▶キーで、カーソルを左右に移動できます。
- タイトル入力のとき、TITLE SERCH（タイトル サーチ）キーを押すと、「上書きモード」、「挿入モード」に切り換わります。

❸ 文字を確定する

ジョグダイアルを押す

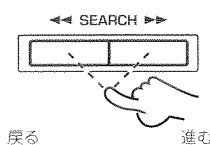
手順❶～❸を繰り返して、タイトルを入力します。

- EDIT/ SPACE（エディット/スペース）キーで、1文字文のスペースを挿入することができます。

手順が次のページに続きます。

3 タイトルの変更または消去するとき

本体　　リモコン

❶ カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる

選択文字、点滅

- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀、▶▶キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現われます。
- 目的の文字を消したいときは、FADE/DELETE(フェード/デリート)キーを押します。

❷ 文字グループを選ぶ

下記の文字グループを選ぶことができます。

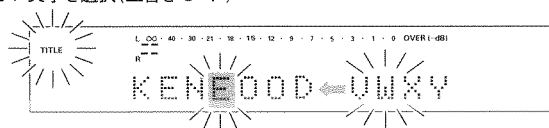
① A～Zと、スペース(1文字分の空白)
② a～zと、スペース
③ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
④ カタカナと、スペース

❸ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ

押すたびに切り換わります。

① 上書きモード　：文字の上から入力するとき
② 挿入モード　　：文字の前または後ろから入力するとき

カーソルの種類

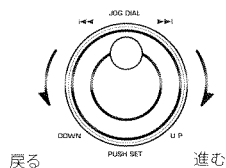
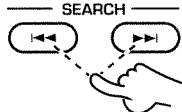
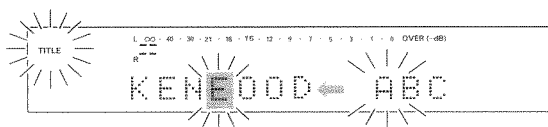
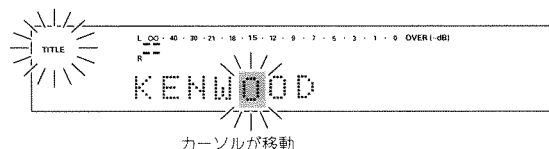
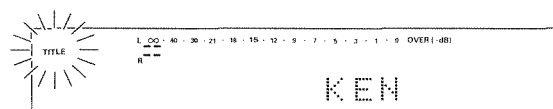
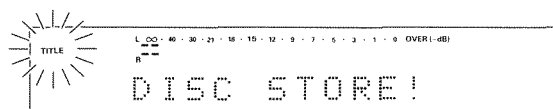
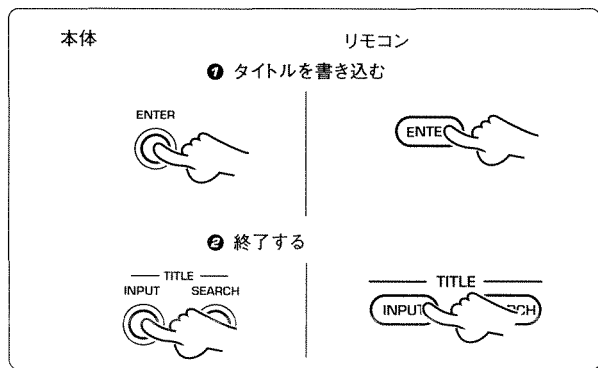
上書きモード　：カーソル"　"が大きくなる
挿入モード　　：カーソル"　"が小さくなる

❹ 正しい文字を選ぶ

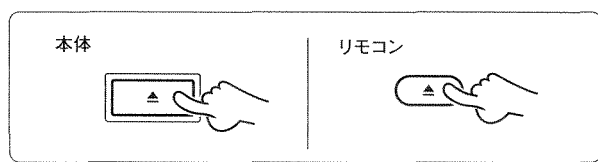
正しい文字を選択(上書きモード):

- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。
  (例:[2]キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀◀、▶▶キーで、カーソルを左右に移動できます。

❺ 文字を確定する

ジョグダイアルを押す

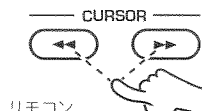
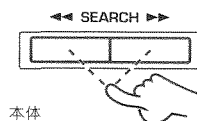
カーソルが移動

手順❶～❺の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

4 タイトルの編集を実行する

タイトルがスクロールする

5 ミニディスクを取り出す

"WRITING(ライティング)"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集機能キーについて

CHARA.(キャラクター)キー:
文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

マニュアルサーチ(◀◀、▶▶)キー:
タイトル入力のとき、カーソルの移動ができます。
カーソルが ▁ (下半分のみ)のとき :入力する文字はカーソルのある文字の前に入ります。

カーソルが █ のとき :カーソルのある文字が新しく入力する文字に置き換えられます。

FADE(フェード)/DELETE(デリート)キー:
カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

EDIT(エディット)/SPACE(スペース)キー:
カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)こともできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、◀◀、▶▶キーを続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールの例

表示される範囲(全体を表示できない)

ABCDE[FGHIJKLMNOPQ]RSTUVWXYZ

スクロール➡

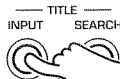
ABCDEFGHIJ[KLMNOPQRSTUV]WXYZ

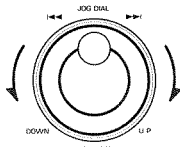
⬅スクロール

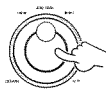
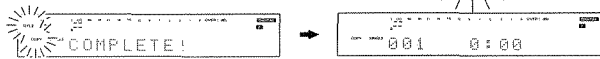
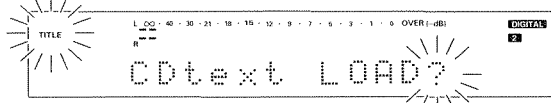
[ABCDEFGHIJKL]MNOPQRSTUVWXYZ

CDテキスト編集

ケンウッド製のCDテキスト対応のCDプレーヤー（背面に"CD TEXT "とマークがあります。）にシンクロコードとディジタルコードまたは光ファイバーケーブルを接続したときに、CDディスクのテキスト（トラックタイトル）と曲をMDにコピーすることができます。テキスト（トラックタイトル）のみのコピーはできません。なお、CDテキストがディスクによってはコピーできない場合があります。

準備しましょう

❶ アンプの入力切り換えをCDにする。
❷ CDのPGMモードをOFFにする。
❸ CDとMDを停止する。
❹ MDをCDに接続しているDIGITALモードにする。

本機で編集中は、サイバータイトラー（CT-G90別売またはCT-H90別売）からのタイトル転送はできません。

CDテキストをコピーするには

1 CDのテキストをMDに取り込む

押すたびに切り換わります。
① TITLE 消灯：TITLE INPUT モードオフ
② TITLE 点滅：TITLE INPUT モードオン

ジョグダイアルを回すたびに切り換わります。
① DISC　:ディスクタイトル
② 001　:トラックタイトル
③ PRE 1-PRE 9　:プリセットタイトル
④ ALL ERASE ?　:ディスクとトラックの全タイトル消去
⑤ CDtext LOAD?　:テキストコピーの準備

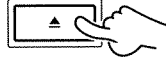
"COPY"点滅　"COPY"点灯

- 確定の操作をすると、CDからMDへ、テキスト（トラックタイトル）が送信されます。
- CDテキストのコピーを途中で中止したいときは、コピーしているCDディスクを取り出します。

実行後の表示
COMPLETE !　:取り込み完了
CAN' T LOAD　:取り込み不完全
CAN' T ACCESS:CDテキスト対応のCDプレーヤーが接続されていない。

取り込んだCDテキストデーターを削除するには

"COPY"点灯時、REC INPUTキーを押してモードを切り換えます。

2 テキストをコピーしながら曲を録音する

❶ CDを一時停止にする
❷ CDの録音したい曲を⏮、⏭キーで選ぶ
❸ MDレコーダーを録音一時停止にする
❹ CDの再生を始める

- 録音を途中で中止したいときは、CDの■キーを押します。

実行後の表示
CAN' T COPY!　:コピーができない

3 ミニディスクを取り出す

情報を書き込み中　ミニディスク排出中

" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

- 取り込まれたCDテキストデーターは、自動的に削除されます。

サイバー・タイトラーを使うとき

本機に、サイバー・タイトラー(別売)を専用通信ケーブルで接続することにより、録音用MDへのタイトル入力からMDケースやカセットケースへのラベルプリントの作成ができます。
またMD録音中に離れた場所でのタイトルの打ち込みができ、そのデータを本機に転送し編集後、再びサイバー・タイトラーにデータを転送するなど、タイトル編集が双方向通信で行えます。
詳しくは、サイバー・タイトラー(CT-G90別売、およびCT-H90別売)の取扱説明書をお読みください。
但し、いずれも本機と漢字でのタイトル編集はできません。

本機で編集中は、サイバータイトラー（CT-G90別売またはCT-H90別売）からのタイトル転送はできません。

タイトル編集例

サイバー・タイトラーで、MDに貼るラベルを作るとき

❶ サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
　または、MDからタイトルを読み込む。
❷ サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
❸ サイバー・タイトラーでプリントする。
❹ MDのケースにラベルを貼る。

サイバー・タイトラーで、MDにタイトルを入力するとき

❶ サイバー・タイトラーでディスクや曲のタイトルを入力する。
❷ サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
❸ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
❹ MDにタイトルが入力される。

サイバー・タイトラーでタイトル作成、MDレコーダーでタイトル編集、サイバー・タイトラーでラベルを作るとき

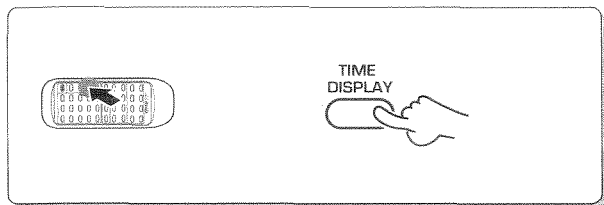
❶ サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
❷ サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
❸ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
❹ MDレコーダーで、タイトルを編集する。
❺ MDレコーダーからサイバー・タイトラーへタイトルを送る。
❻ サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
❼ サイバー・タイトラーでプリントする。
❽ MDのケースにラベルを貼る。

接続に使用するケーブルについて

接続には、必ずサイバー・タイトラー付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。
また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器への電波障害を与えることがあります。

ディスプレイ表示の切り換えかた

TIME DISPLAY キーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。

押すたびに切り換わります。

再生中／停止中

- ① SINGLE(+) ：曲の経過時間
- ② SINGLE(-) ：曲の残り時間
- ③ TOTAL(+) ：曲の総経過時間
- ④ TOTAL(-) ：曲の総残り時間（停止中は、総曲数も表示）
- ⑤ REMAIN ：ミニディスクの録音可能残量時間
- ⑥ TITLE ：トラックタイトル表示（再生中）／ミニディスクタイトル表示（停止中）

録音中

- ① SINGLE(+) ：録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL(+) ：再生、録音の総経過時間
- ③ REMAIN ：ミニディスクの録音可能残量時間

1曲も録音されていない場合

- ① SINGLE(+) ："BLANK DISC"と表示（ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示）
- ② REMAIN ：ミニディスクの録音可能残量時間
- ③ TITLE ：ミニディスクタイトル表示

LEVEL METER MODEキーについて

レベルメーターの表示内容をサイクリックに切り換えることができます。

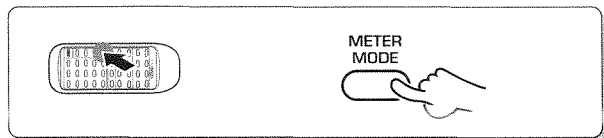
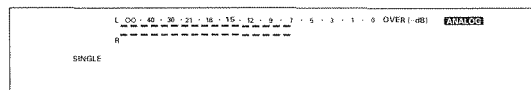
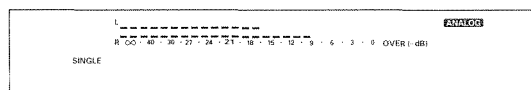
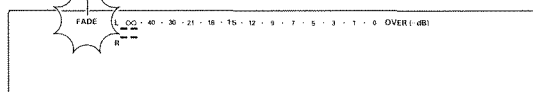
1. ノーマル表示 ：0dB近辺のスケールが細かく設定してあるモード。通常録音（ロック）や再生（ポップス）に適したレベルメーターです。
2. ワイド表示 ：0dBから30dBまでほぼ等間隔にスケールが設定してあるモード。クラシックなどの微小レベルから高いレベルまでの激しい音楽を再生するのに適したレベルメーターです。

押すたびに切り換わります。

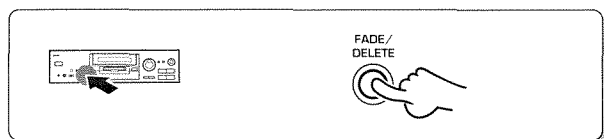
① ノーマル表示例 ：

L ∞ · 40 · 30 · 21 · 18 · 15 · 12 · 9 · 7 · 5 · 3 · 1 · 0 OVER (-dB) ANALOG
R
SINGLE

② ワイド表示例 ：

L ANALOG
R ∞ · 40 · 30 · 27 · 24 · 21 · 18 · 15 · 12 · 9 · 6 · 3 · 0 OVER (-dB)
SINGLE

FADEキーについて

フェードモードをオンにすることにより、曲を録音するとき、音をだんだん大きくしたりまた小さくしたりすることができます。

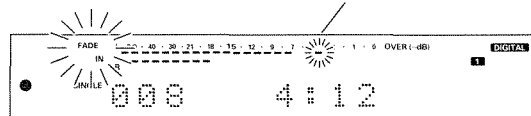
電源が入っているとき、REC INPUTがDIGITALの場合、通常の停止中および録音中に有効となります。解除するときは、再度FADE/DELETEキーを押します。

"FADE"点灯

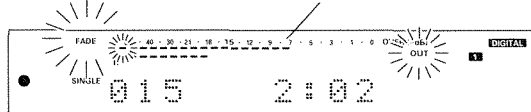
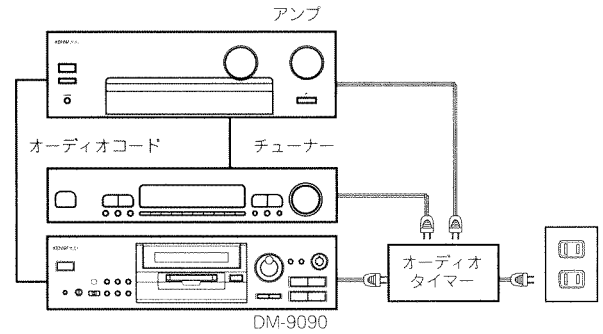
フェードイン／フェードアウトの表示

レンジ上段 ：フェードイン／フェードアウトのときの状態をグラフ表示する。

レンジ下段 ：その時のRch＋Lchのレベルによって点灯する。

例（FADE INのとき）：

フェードインするごとにレベル値が →進む

例（FADE OUTのとき）：

フェードアウトするごとにレベル値が←戻る

タイマーを利用して

市販のタイマーを利用して、お好きな時刻に再生や録音をすることもできます。

各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。
3日以上、電源が入らないようなタイマー録音設定はしないでください。最後の録音内容が消える場合があります。
"メモリーバックアップ" →5

タイマー再生、タイマー録音

1 各機器の電源をON(オン)にする

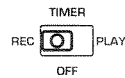
●本機もROWER(パワー)キーをオンにします。

2 準備をする

タイマー再生するとき	タイマー録音するとき
録音済みミニディスクを入れる	❶ 録音用ミニディスクを入れる ❷ 希望の放送局を受信する ❸ REC INPUT(レック インプット)キーでソースに合わせる →24 ❹ 録音レベルを調整する

●タイマー録音をする場合、誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。→4

●タイマー録音をする場合、必ず録音可能時間を確認してください。→48

3 アンプの音量を決める

タイマー再生するとき	タイマー録音するとき
❶ ミニディスクを再生する ❷ アンプの音量を調節する ❸ ディスクを停止する	アンプの音量を最小にする。

4 タイマースイッチを設定する

タイマー再生するとき	タイマー録音するとき

●設定した時刻がくると、自動的にディスクの再生、または録音が始まります。(接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。)

5 タイマー時刻を設定する

タイマー再生するとき	タイマー録音するとき
希望の時刻がくれば本機の電源が入るようにタイマーを設定する。	希望の時刻がくれば本機の電源が入り、チューナーを受信するようにタイマーを設定する。

●タイマースイッチ設定後、リモコンのON/STANDBY(オン/スタンドバイ)キーをオンにすると、タイマー動作が開始しますので、注意してください。

故障と思われる症状ですが....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

POWER(パワー)キーがオンのままの状態で、電源プラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲)キーを押しながら、差し込みます。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC(ディスク) FULL(フル)"と表示される。	●256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間（60分、74分）と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	●録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING(リーディング)"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用ミニディスク（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ●編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスク。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意 味	処 置
NO DISC（ノー ディスク）	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。
001 UNLOCK（アンロック）	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルがはずれているか、不完全である。(接続されていない。)	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 →8
001 SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。 →24
001 NotAudio（ノット オーディオ）	●入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。	●アナログ録音に切り換える。 →24
DISC FULL（ディスク フル）	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。
TITLE FULL（タイトル フル）	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。 →42
BLANK DISC（ブランク ディスク）	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
NO TRACKS（ノー トラックス）	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
READING（リーディング）	●TOC（トック）*1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。
WRITING（ライティング）	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。
DISC ERROR（ディスク エラー）	●UTOC（ユートック）*2 の内容が異常である。	●全曲消去"←ALL（オール）"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。→40
EDIT NOW!（エディット）	●編集中である。	●故障ではありません。
CAN'T EDIT（キャント エディット）	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTER（エンター）キーを押すと、編集が実行されます。
PROTECTED（プロテクテッド）	●ミニディスクが"WRITE PROTECT（ライト プロテクト）"されている。	●"WRITE PROTECT"を解除する。 →4
PLAY ONLY（プレイ オンリー）	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。 →6
CAN'T ACCESS（キャント アクセス）	●CDテキスト対応のCDプレーヤーが接続されていない。	●ケンウッドのCDテキスト対応のCDプレーヤーとシンクロ接続する。 →8
CAN'T LOAD（キャント ロード）	●テキスト対応のCDディスクがCDプレーヤーに入っていない。 ●CDプレーヤーと光ケーブルが接続されていない。 ●CDプレーヤーが再生しているか、PGMモードになっている。	●テキスト対応のCDディスクをCDプレーヤーにセットする。 ●CDプレーヤーと光ケーブルを接続し、MDレコーダーのREC INPUTを合わせる。 →8 ●CDのPGMモードをOFFにし、CD、MDを停止状態にする。
CAN'T COPY（キャント コピー）	●CDディスクによって、コピーができないものがあります。	●そのCDディスクのタイトルは、コピーできません。(コピーできるCDディスクに変える)

その他の症状

症 状	原 因	処 置
再生キーを押しても音が出ない。	●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。	● "接続のしかた"に従い正しく接続する。 →8 ● ミニディスクを入れる。 ● 録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない。	●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。	● 書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 →4 ● アナログ録音にする。 →24 ● 録音レベルを調節し直す。 →25 ● 録音用ミニディスクを入れる。 →6 ● ミニディスクを入れ換える。 ● 実際の入力ソースと合わせる。 →24 →26 ● アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	● 録音レベルを調節する。 →25 →27 ● ミニディスクを交換する。
雑音が大きい。	●外部の雑音を誘導している。	● 電気器具、テレビなどから離す。
リモコンで電源がオンできない。	●本体のPOWERキーがオフになっている。	● 本体のPOWERキーをオンにする。

TOC*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table Of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 →51

UTOC*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (User's Table Of Contents)と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 →51

【規格】

形式 .... ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式 .... ATRAC(Adaptive(アダプティブ) TRansform(トランスフォーム) Acoustic(アコースティック) Coding(コーディング))
回転数 .... 約400rpm ～ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバーター .... 1ビット(24 bit Fine D.R.I.V.E.)
オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/Dコンバーター .... 4次 ΔΣ 方式+D.R.I.V.E.変換
サンプリング周波数 44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性 (再生時) .... 8Hz ～ 20 kHz
SN比 (再生時) .... 110 dB 以上
ダイナミックレンジ (再生時) .... 98 dB 以上
総合ひずみ率 (1 kHz、再生時) .... 0.004 %以下
ワウ・フラッター(EIAJ) .... 測定限界以下
アナログ入力感度／入力インピーダンス .... 500m V / 22 kΩ
アナログ出力レベル／出力インピーダンス .... 2.0V /300Ω以下
　ヘッドホン 20mW/32Ω負荷
デジタル入力
　コアキシャル 0.5Vp-p/75Ω
　オプチカル(発光波長 660nm) .... -15dBm ～ -21dBm
デジタル出力
　コアキシャル 0.5Vp-p/75Ω
　オプチカル(発光波長 660nm) .... -15dBm ～ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) .... 16 W
最大外形寸法 .... 幅 440 mm
高さ 130mm(ピンスパイク装着時、最小高さ)
奥行 373 mm
質量(重量) .... 10.2 kg(正味)

1.これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2.極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。
（別紙"全国サービス網"をご参照ください。）

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

持込修理と出張修理

「持込修理」,「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のためにセットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。（スピーカーは除きます）
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。
（お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。）

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- ステレオ補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ（有料修理の場合、これらの費用が必要です。）

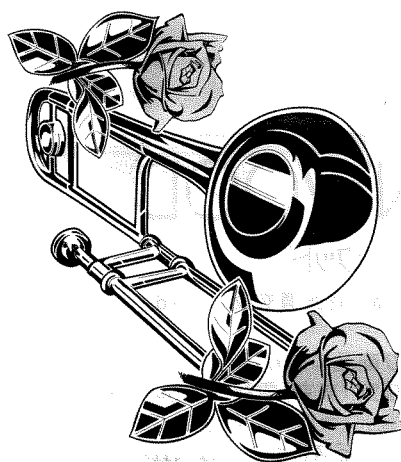
- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（SERIAL No.）
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- お客様の連絡先（お名前、住所、電話番号）

愛情点検　このような症状はありませんか？

- 電源をONにしても音が出ない。
- 音が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源をOFFにしても音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止！
故障や事故防止のため、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。
必ず販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所までご連絡ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

● 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335　〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9（ケンウッド青葉台第二ビル）
（大阪）電話（06） 357-5335　〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。